

第七十九回帝國議會
衆議院

米穀需給調節特別會計法中改正法律案委員會會議錄(速記)第十三回

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)
獸醫師法第二條ノ臨時特例ニ關スル法律案(政府提出、貴族院送付)
(第七五號)
明治四十五年法律第二十一號中改正法律案(臘虎臘熊臘獺獵獲禁止ニ關スル件)(政府提出、貴族院送付)
(第七六號)

會議

昭和十七年二月九日(月曜日)午前十時二十八分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 三善 信房君

理事若瀨 亮君

理事松浦 伊平君

理事森 幸太郎君

理事松本治一郎君

理事小林房之助君

理事森田重次郎君

理事前川 正一君

津崎 尙武君

坂下仙一郎君

東郷 實君

松浦周太郎君

山川頼三郎君

吉田 賢一君

大石 倫治君

野溝 勝君

森田 福市君

平野 力三君

同月七日委員林讓治君辭任ニ付其ノ補闕トシテ大石倫治君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

農林大臣兼拓務大臣 井野 碩哉君

出席政府委員左ノ如シ

農林次官 三浦 一雄君

農林省農政局長 岸 良一君

農林省山林局長 井出 正孝君

農林省水產局長 平岡 梓君

馬政局長官 栗屋 仙吉君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

獸醫師法第二條ノ臨時特例ニ關スル法律案(政府提出、貴族院送付)(第七五號)
明治四十五年法律第二十一號中改正法律案(臘虎臘熊臘獺獵獲禁止ニ關スル件)(政府提出、貴族院送付)(第七六號)

○三善委員長 只今ヨリ開會致シマス

○松本(治)委員 私ハ軍用保護馬ノコトニ付テ當局ニ御尋ネラ致シマス、昭和十五年度第一豫備金支出總計算書ノ中ノ農林省所管第一豫備金支出計算書ノ科目ノ馬政局軍馬資源保護施設費ヲ見マスルト、豫算金額ノ約七倍半ニ近イ金ガ支出サレテ居ルノデアリマス、サウシテ其ノ豫算ニ不足ヲ生ジマシタ理由説明ニ依リマス、軍用保護馬死傷補償金ノ支出ヲ要スル多カリシ爲メ第一豫備金ヨリ補充シ、流用増額ハ雜給ノ目ヨリ流用シタコトニナツテ居ルノデアリマス、斯カル豫算金額ノ七倍半ニモ近イ多額ノ不足ヲ生ジタル理由ハ、軍用保護馬死傷ガ多カク爲メダト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、私ガ當局ニ御尋ネシタイノ、ハ其ノ軍用保護馬死傷ノ多カリシ理由デアリマシテ、例ヘバ獸醫師不足又ハ醫療用品及ビ其ノ他ノモノノ不足等ノ爲メカ、又ハ飼料不足或ハ代用飼料等カラ來タ榮養不足ノ結果カ、今一ツハ油等ノ配給激減ノ爲メ馬車ニ依ル小運送ガ激シクナリ、

馬ヲ過度ニ使役シタル爲メカ、ソレ等ノコトニ付テ一寸御尋ネラスルノデアリマス
○栗屋政府委員 御述ベニナリマシタ點ハ慥カ十五年度ノ決算デゴザイマセウカ、能ク調ベナケレバ分リマセスガ、最近ニ於キマシテ軍馬ガ左様ニ澤山斃レタト云フコトハナイノデアリマシテ、何カ軍用保護馬ノ特別ナ保護施設等ノ爲ニ經費ヲ要シテ其ノ餘備金ノ支出ト相成ツタモノト考ヘルノデアリマス、軍用保護馬ノ鍛鍊、其ノ他育成ニ付キマシテハ十分ニ力ヲ致シテ居リマシテ、近時漸次其ノ質モ良クナリ、最近ノ徵發等ニ於キマシテモ非常ニ好成績ヲ現ハシテ居ルノデアリマス、特別軍馬ノ斃死疾病等ガ非常ニ發生シテサウシタ金額ヲ出シタト云フコトハナイモノト考ヘテ居ルノデアリマス

モマダ飼育時代デアリマシテ本當ニ役ニ立ツノハ、十分ノコトヲ言ヒマスレバ軍馬等ハ五才カラ一ケレドモ四才位カラ先ヅ一人前ノ用ニ立ツ、斯ウ云フ風ニ考ヘタラ宜イノデヤナイカト思ヒマス
○松本(治)委員 四才位カラガマア一人前ノ馬ダ、斯ウ云フ話デアリマスガ、事實ハ當内ノ馬ガ農村ニ於テハ使ハレテ居ル事實ガアル、事變前ハ幼少年ヤ、婦女子ノ勞働從事、殊ニ婦女子ノ炭坑入坑ニ付テハ論議サレテ居ツタノデス、事變後ハ勞力不足ノ爲ニ却テ獎勵サレテ居ルノデアリマス、是ハ時局柄已ムヲ得ナイコトト思ヒマス、牛馬ニ於キマシテモ若イ牛馬ガ可ナリ使役サレテ居ルノヲ見ルノデアリマス、私此ノ正月ノ初メ頃郷里福岡市附近ノ農村ヲ廻ハツテ居リマシタ時、偶然幼馬ニ荷車ヲ牽カセテ來ル者ニ出合ヒマシタノデアリマス、其ノ人ハ豫テカラ知合ノ間柄デアリマシタカラ其ノ馬車ヲ止メテ話ヲ交ハシタノデアリマスガ、其ノ時私ハ此ノ馬ハマダ若イヤウダガ何オデスカト尋ネマス、ト當内デス、所謂當才ト云フノデアリ、ト答ヘマシタノデ、ソナナ若イ馬ヲ使ツテハ無理デヤナイカト申シマスルト、ソレハ可哀サウデス、宜クナイコトハ知ツテ居リマスガ、仕方ナク使ツテ居リマス、折角使ヒ慣シタ働キ盛リノ馬ハ先日軍馬ニ徵發サレマシタノデ、代馬ガナケレバ困リ

マスカラ後馬ノ買入ニ奔走致シマシタ、偶々適當ノ馬ガ居レバ値が高イシ、私ノヤウナ貧乏農民デハ購入スルコトガ出来ナイ、仕方ナク此ノ若馬モヤウツ買ツタノデアリマス、コンナビヨ／＼ノ若馬デモ安クハ買ヘマセス、コンナ馬デモ五百五十圓出サナケレバ買ヘナカツタノデス、サウシテ數年間養ツテ使ヒ慣シテ働キ盛リノ五才ノ馬ハ僅カ二百五十圓デシカ買上ゲラレナカツタ、無論御上ノコトデアリマスカラ、只デモ差上ゲタイノデアリマスガ、吾々ノヤウナ貧乏農民ハセメテ後馬ノ買入ヘル位ニハ買ツテ貰ヒタカツタノデスト答ヘマシタ、此ノ馬モ實ノ所不足金ノ三百圓ハ借金ヲシテ買ウタヤウナ始末デアリマス、今後農業ヲ止メテ他ニ働キニ行キマスルト金ノ取レル所ハアリマスガ、戰爭ニ勝ツ爲ニハ農產物ノ増產ヲシツカリヤラナケレバナラスト言ハレテ居リマス、是モ統後國民ノ務ト致シマシテ農業ヲ止メル譯ニモ行キマセス、此ノ荷車ニ現在積ンデ居リマスル物モ堆肥用ノモノデアリマス、肥料ハ今年モ亦減ルトノコトデアリマスカラ、無理トハ思ヒナガラモ此ノ幼馬ヲ使ツテ居ルノデアリマス、普通ナラコンナ馬ハ今年ノ五月頃マデ能ク飼育シテ體力ヲ造ツタ上デ使ヒ始メルノデアリマスガ、肥料ノコトモ氣ニナルシ、働キ盛リノ息子ハ御國ノ爲メ第一線ニ行ツテ働イテ居リマス、男ハ私一人、アトハ女子供ヲ相手ニ農業ヲヤツテ居ルヤウナ次第デアリマシテ、仕方ナク此ノヤウナ若馬ヲ使ツテ居ルノデアリマス、アナタハ近イ内議會ニ出ラレル爲メ上京サレマセウカラ、議會ヘ行カレマシタラドウカ此ノコトヲ政府ノ人ニ話シテ呉レト頼ムノデアリマシタ、又

其ノ人ガ言フニハ私ト同様貧乏農民ハ馬ヲ微發サレテ困ツテ居ル者ガ澤山アリマス、馬ガ御國ニ必要デアレバ出スコトニハ不服ハアリマセスカラ、後馬ヲ購入サレルヤウニシテ貰フヤウ願ツテ下サイ、私等ハ働クノデアレバ何ボデモ働キマス、辛抱ハドンナ辛抱デモシマスカラ働ケルヤウニシテ下サイト、心カラナル懇ヘデアツタノデアリマス、此ノ馬ノ微發ノ問題ハ農村關係者ノ者バカリデナク、馬ノ手綱一本デ五、六人ノ家族ヲ養フテ居ル所謂馬車屋サンニモアルノデアリマス、斯カルコトニナツテ居ルコトヲ當局ハ御存ジデアリマセウカ御存ジデアルトスルナラバ其ノ善處スル方法ハドウサレテ居ルカ、ソレヲ御伺ヒシタイノデアリマス

○粟屋政府委員 色々御話ガアリマシタガ、結局馬ノ微發價格ガ安クテ困ツテ居ルト云フコトガ問題ノ中心ノヤウニ伺ヒマシタ、是ハ日支事變勃發以來段々軍馬トシテ微發サレマシテ馬ノ數ガ少クナツテ居リマス、一方之ニ應ズル爲ニ極力増產ヲ致シテ居リマスケレドモ、中々ソレガ元ヘ還ルト云フコトハ直グニハ參リマセス、隨ヒマシテ馬ノ需要供給ノ關係カラ自然馬ノ價格ハ昂騰シテ參ル、必ズシモ馬ノ値打ガ非常ニ上ツタ、或ハ飼育、生産ノ爲ニ非常ニ經費ガ増シタト云フ其ノ原因バカリデナク、馬ノ數ガ少クナツタト云フコトカラ價格ガ非常ニ上ツテ參ル、ソレニ對シマシテ其ノ微發ノ價格ガ之ニ伴ハナイ、斯ウ云フ聲ガ段々アツタノデアリマス、是ガ軍ノ立場カラ申シマス、必ズシモ其ノ需要供給ノ關係カラ無暗ニ高マツテ參ル其ノ現象ニ直グニ追從シテ價格ヲ上ゲルト云フ譯ニモ行キ

マセス、相當其ノ間ニ困難スル事情ガアルト云フコトハ能ク分ツテ居リマスノデ、昨年八月以降其ノ微發ニ對スル代償ノ金額モ漸次増シテ居ラルル狀況デアリマシテ、今後ハ餘リサウシタ不平ハナイドラウト思ヒマス、昨年微發サレマシタ際ニ大分サウ云フ聲ガアリマシテ、今御述ベニナリマシタヤウニソコニ普通ノ物ノ賣買カラ言ヘバ相當ノ不足不平ト云ツタヤウナ立場ニアルヤウナ者モアツタヤウデアリマスガ、併シ能ク刻下ノ國防ノコトヲ考ヘラレテ、之ニ對シテ默々トシテ其ノ後始末ヲヤツテ、喜ンデ國ニ馬ヲ獻上シ、其ノ價格ニ於テ相當ノ不足ヲ感じテ居ラレル方モアリマシタガ、特ニ其ノ聲モ立テズニ今御話ノヤウナ狀況デアツタノヲ察知致シマシテ、國ニ於キマシテモ後馬ノ買ヘルヤウニト云フノデ、相當ノ金額ヲ全國ノ被微發者ニ與ヘルヤウナ措置ヲ執リマシテ、又後馬ガ買ヒ易イヤウニ措置ヲ致シタノデアリマス、先程モ申シマシタ通り、其ノ後ニ於キマシテハ軍ニ於テ微發セラレル價格ニ付テモ相當ノ引上ゲラレテ居リマスカラ今後ハ餘リ多クノ不平ハナクナルドラウト考ヘラレマス

○松本(治)委員 私ノ聽キマシタノハ先刻申上ゲマシタ通り今年ノ正月ノコトナノデス、アナタノ今ノ御答辯ニ依レバ昨年カラサウ云フ不平ノ起ラヌヤウニ善處シテ居ル、斯ウ云フ御話デスガ、ソレハ行互ツテ居ナイヤウニ考ヘルノデアリマス、國民トシテハ國家ガ大事業完遂ニ向ツテ進ンデ居ル其ノ國家ノ大目的達成ノ爲ニハ、ドンナ犠牲ニデモナルト云フコトヲ全國民ハ覺悟シテ居ルノデアリマス、前申上ゲマシタ通り其ノ次ノ馬ノ買ヘル程度ニシテ貰ヒタイ、是

ナノデス、ソレハ中農以上ノ人デアレバ幾ラカノ財產ガアリマスルカラ、足シ金モアリマセウ、私が申上ゲマシタノハ貧農デス、五百五十圓ノ馬ヲ買フノニ三百圓ノ足シ金ヲシナケレバナラナイ、三百圓ノ足シ金ドコロカ五十圓デモ三十圓デモアル人デハナイ、三百圓其ノ儘ガ借金ニナツテシマフ、其ノ人ノ話ニ依ルト此ノ三百圓ハ生涯附纏フデアラウ、斯ウ云フノデアリマス、サウ云フ方面ガ救ハレテ居ルトスルナラバ、今年ノ正月ニサウ云フ話ヲ聽ク答ハナイト思フノデアリマス、アナタノ御答辯ニ依ルトサウ云フコトノナイヤウニ努メラレテ居ルトハ思ヒマスガ、徹底シテ居ナイヤウニ私ハ思フ、全國ニ徹底スルヤウニ何カノ方法デ取計ラツテ貰ヒタイト思フノデアリマス、ソレガ出来マセデセウカ

○粟屋政府委員 全國ニ互リマシテ大體ニ其ノ措置ハ執ラレテ居リマス、ケレドモ其ノ微發サレタ馬ガ何ガシデアツタ、サウシテ其ノ次ニドウ云フ馬ヲ買ハントスルカト云フコトハ本人ノ希望ニ依ツテ違フノデアリマシテ、三百圓ヲ足シテ元ノ馬ト同ジ位ナ馬ヲ買ハウトスル人モアリマスシ、或ハソレマデ出サナイデソレ以下ノ或ハ幼馬ヲ買ツテ間ニ合ハセルト云フ人モアリマス、デアリマスカラ其ノ後馬ガ完全ニ買ヘルヤウニ其ノ間ニ少シノ差モナイヤウニ國家ガ埋メル、ソコマデノ手ハ實際問題トシテ行届キマセス、ケレドモ大體ニ於キマシテ前ニ微發サレタ價格ヲ標準トシテ其ノ價格ニ對シテ二割五分以内ノ補助金ヲ與ヘマシテ、其ノ價格デハ或ハ買ヘナイカモ知レマセスカラソレヲ足シテヤルト云フ氣持チノ助成ガ出タノデアリマシテ、御述ベニ

ナリマシタ場合ノコトハ、必ズシモソレ
デ十分ナ、元居馬ト同ジヤウナ馬ガ買
ヘルト云フ譯ニハ行カヌカモ知ラス、ソレ
カラ又馬ノ價格等モ高クナリマシタガ、
是ハ馬ノ少クナリマシタ爲ニ已ムヲ得ナイ
コトデ、又コナラトシマシテモ馬ノ數ガ少
イノ徴發サレタ後馬ヲ手ニ入レルコトガ
數ノ上カラ間ニ合ハヌ場合モゴザイマ
ス、ケレドモ極力馬ヲ元ト飼ツテ居ツタ者
ニハ又馬ヲ持タセタイ、軍馬資源涵養ノ意味
ニ於テ成ベク元ト馬ヲ持ツテ居ツタ者ニハ
又馬ヲ持タスヤウニト當局トシテモ努力ヲ
シテ居リマス、只今ノヤウナ御話ガ丁度元
ノ通りノ馬ガ買ヘルヤウニ政府デドウニカ
セヨト云フヤウナ御希望デアラナラバ、是
ハ中々出來ニクカラウト思ヒマスガ、或ル
程度ノ手當ハ出來テ居ル筈デゴザイマスガ
ラ、其ノ點ハ能ク御調ベニナレバ多分何ガ
シカノ補助金ガ渡ツテ居ルト思ヒマス、或
ハ渡ツテ居ラナクテモ近ク參ルデアラウト
思ヒマス

○松本(治)委員 私ガ先刻申上ゲマシタノ
ハ貧シイ農民ノコトデ、働キ盛リノ五才ノ
馬ガ二百五十圓デ買上ゲラレタ、サウシテ
ビヨ／＼ノマダ使ヒニナラナイ所ノ若馬ガ
五百五十圓ダ、其ノ五百五十圓デ買ツタ馬
ガ使ヘナイ、五才ノ働キ盛リト同様ナ馬ヲ
買フ金ヲ出シテ呉レト云フノデハナイ、馬
ガ若馬デ使ヒニクイ馬デモ宜イカラ、其ノ
若馬ノ買ヘル金ダケハ出シテ貰ヒタイ、斯
ウ云フノデアリマス、五才ノ馬デアリマス
ナラバ福岡市方面デハ三千斤ノ荷ヲ輓イテ
居リマス、少クトモ二千斤、二千五百斤ハ
輓イテ居ルノデアリマスガ、二千五百斤カ
ラ三千斤ヲ輓カナケレバ、馬車屋サンハ食

ツテ行カレナイ、併シ二千五百斤ヤ三千斤
ノ荷ヲ輓イテ居ツタカラ、サウ云フ荷ヲ輓
ク馬ヲ呉レト云フノデアリマセヌ、サウ
云フ馬ヲ買フ金ヲ出シテ呉レト云フノデハ
アリマセヌ、其ノ馬ヨリ劣ツテモ宜イカラ
馬トシテ買ヘル金ヲ戴キタイ、斯ウ云フノ
デアリマス、五才ノ馬ヲ買ヘルダケノ金ヲ
呉レト云フヤウナ考ヘハ農民ハ持タナイノ
デス、二年先、三年先ニ役立ツヤウナ馬デ
モ構ハナイカラ、其ノ代リノ馬ヲ呉レト云
フノデアリマス、ソレヲ能ク知ツテ戴キタ
イト思フノデアリマス

其ノ次ニ一寸御話シテ置キタイコトハ、
以前ハ農家ノ方デハ若イ牛馬ヲ飼フノハポ
ツボツ使ヒナガラ成長サセマシテ、賣ル時
ニハ買ツタ時ノ値ヨリモ何倍カニナツテ
農家デハ賣レルノヲ樂シミニシテ居ル、其
ノ小繼マツタ金ヲ一廉ノ役ニ立テ、ソレヲ
農村生活ノ一ツノ樂シミニサレテ居タノデ
アリマス、所ガ今日ノヤウデハ碌ニ使ヘナ
イ馬ヲ五、六百圓モ出シ、賣ル時ニハ二、
三百圓ニシカ賣レナイト云フコトデハ農村
生活ノ一ツノ樂シミガナクナルノデアリマ
ス、理窟ハ別ト致シマシテ、實際問題ト致シ
マシテ馬匹ノ改良、馬ノ増産ヤ、有畜農業、
自給肥料等ノ獎勵ヲシテモ、馬ノ飼育ニ少
シ位ノ味ハ持タセナケレバ駄目ダト私ハ思
フノデアリマス、ソレ等ノコトハ大東亞戰
完遂ノ成否ニモ係ハル大切ナ農產物生産ノ
上ニ、直接影響ヲ持ツ重大ナ問題デアリマ
スガ爲ニ、當局ニ於テモ此ノ上尙ホ一層ノ
注意ヲ拂ハレ、善處セラレンコトヲ望ミマ
シテ私ノ質問ヲ終リマス

○井野國務大臣 只今松本委員ノ御述ベニ
ナリマシタ點ハ、私昨年東北ヲ廻リマシテ
徵發馬ト購入馬トノ價格ノ問題カラ、農民
ガ相當ニ色々ノ氣持ヲ持ツテ居ルト云フコ
トガ能ク分リマシタ、歸ツテ來マシテ直ダ
ソレニ對シテ大藏省トモ相談シ、陸軍省ト
モ相談致シマシテ、是ハ金額ハ秘密デアリ
マスカラハツキリ申上ゲラレマセヌガ、相
當多額ノ金額ヲ獎勵金トシテ出スコトニ致
シマシタ、併シ獎勵金デアリマスカラ、恐
ラク松本サンガ其ノ本人ニ御會ヒニナリマ
シタ時分ニハ、渡ツテ居ナカッタカモ知レ
マセヌガ、兎モ角全國ニ互ツテノ相當ノ獎
勵金デアリマスカラ、恐ラクソレヲ貰ヘバ今
御述ベニナツタヤウナ氣持ハ餘程ナクナル
ノデハナイカ、併シ今御述ベノ通り五才馬ヲ
賣ツテ當才馬ヲ買フ、連モ五才馬ヲ賣ツテ
五才馬ヲ買フト云フ譯ニハ行カナイノデアリ
マスカラ、是ハ御諒承願ヒマスガ、此ノ金額
ノ點ニ於テ農民ニ御話ノヤウナ氣持ヲ與ヘ
テハイケナイ、ソレハ今後馬產獎勵上一番
憂フベキコトデアルト考ヘマシタノデ、サウ
云フ措置ヲ執リマシタ、其ノ後モ軍當局ニ
御願ヒシマシテ、馬ノ購入ニ當リマシテハ、
購入價格ヲ現在ノ公定價格ニ近い價格ニマ
デ引上ゲルコトモ話ガ付キマシタ、現在ハ
ソレヲ實行致シテ居リマス、デアリマスガ
ラ今後ハサウ云ツタ問題ハ起ラナイト私共
ハ考ヘテ居リマスノデ、其ノ點全ク私共松
本委員ト同ジ氣持ヲ持チマシテ、サウ云フ
對策ヲ講ジタノデアリマス、其ノ點ハ御諒
承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○栗屋政府委員 價格ノ點ニ付キマシテハ、
今ノ公定價格ト云フモノハ相當ノモノデ、
從來馬ヲ育テ賣ツテ居リマシタ値段ヨリ
モ、最近決メラレマシタ公定價格ハ相當高
クナツテ居リマス、先ツ此ノ程度ニ賣レテ
行クモノナラバ、ソレ程樂シミガナクナル
ト云フコトハナカラウト思ヒマス、價格ノ
問題ハヤハリ御述ベニナリマシタヤウニ微
妙ナ關係ガアリマスカラ、將來トモ十分注
意致シテ行キタイト思ヒマス

○野溝委員 私ハ獸醫師法改正ニ關聯シテ、
先般質問ヲ留保シテアリマスカラ、二、三
ノ點ヲ質問シテ見タイト思ヒマス、馬ノ必
要デアルコトハモウ論ヲ俟チマセヌ、今回
ノ南方作戰ニ於キマスル馬ノ功績ト云フモ
ノハ、比較的新聞ニ出マセヌガ、大陸戰ニ
於キマシテハドウシテモ馬ヲ使役シナケレ
バ、最後ノ止メヲ刺スト云フマデニ至ラヌ
コトハ、新聞雜誌ヲ通シテ御諒解ノコトト
思フノデアリマス、特ニ黃河決潰ニ依ル所
ノ作戰ニ於キマシテ、實ニ馬ノ功績ノ偉大
ナルコトハ立證サレテ居ツタノデアリマス、
又本日ノ新聞ヲ見マシテモ魯南ニ於ケル新
作戰展開、于學忠麾下四万ヲ包圍ト云フ見
出シガ新聞ニ出テ居リマス、其ノ内容ヲ見
マスト、實ニ魯南作戰ニ於キマシテハ非常
ニ全山岩石ニ蔽ハレテ居リマシテ、樹木モナ
ク道路モ非常ニ惡イ、此ノ作戰ニ於テ最後
ノ勝利ヲ得ルコトノ出來タノハ此ノ駄馬、
車輛部隊デアツタ、特ニ又ソレヲ指導シタ
獸醫部隊デアツタト云フコトガ、ハツキリ
報道サレテアル一應南方ガ攻略サレレバ結
局大陸續キノ「ビルマ」方面或ハ北方方面ガ、
ドウ云フ風ニ戰線ノ急展開スルコトニ對シ
テ、私共ハ今カラソレニ對應スル對策ト云
フカ、考ヘ方ヲ以テ臨マナケレバナラヌト思
フノデアリマス、左様ナ意味ニ於キマシテ政
府當局ニ於キマシテモ、馬匹ノ増産並ニ第三
次馬政計畫ニ基ク所ノ中半血種ノ生産増殖、
飼育管理等ニ、非常ナ力ヲ入レテ下サルコ

トニ付キマシテハ、全ク吾々モ感銘シ感謝スルモノデアリマス、併シ一ツノ戦争ヲ通ジマシテ得タ所ノ戰勝經驗ヲ活カスコトハ、勿論馬デナクテハナラヌノデアリマスガ、其ノ馬ヲ有能ナ戰列馬トシテ、作上ゲルニハ、技術者ガ絕對必要ナデアリマス、所ガ最近ニ於キマシテハ其ノ技術者ノ必要ヲ痛感致シマシテ、政府ニ於キマシテハ曩ノ議會ニ於テ、臨時獸醫師法ヲ特令ヲ設ケ、又今回ハ年齡低下ノ獸醫師法改正案ヲ出サレタ、是ハ時宜ヲ得タ緊急立法デアリマスガ、併シ私ハ唯是ダケデハマダ――是等獸醫資源ト云フカ、技術資源ヲ確保スルト云フコトハ不可能デアルト思ヒマス、ソコデ先般來私ハ色々意見ヲ申シタノデアリマスガ、本日ハ農林大臣モ御出席デアリマスシ、馬政局長官モ御出席デアリマスカラ、此ノ點ニ付テ私ハ政府當局ノ確平タル御言明ヲ得テ置キタイト思ヒマス、曩ニ裝蹄師法案ガ通過ノ際ニ、裝蹄師技術ノ練磨地位ノ向上ト云フ意味ニ於テ、十一万圓バカリノ之ニ對スル助成豫算ガ計上サレタ、然ルニ勿論馬ハ蹄ナクシテ馬ハナイノデアリマスカラ、馬格ニ關スル重要施設ハ最モ必要デアリマスケレドモ、馬全體ニ對スル生産増殖及ビ鍛鍊育成ヲスルト云フ段取ニナリマス、是ハヤハリ獸醫師デナクテハナラヌノデアリマス、然ルニ獸醫師ニ對スル所ノ助成ハ何等講ジテナイ、先年畜産局ガ局内ノ豫算ヲ繰合セナシマシテ、獸醫師ニ對スル些少ノ助成豫算ヲ交付サレタト云フダケデアリマシテ、何等之ニ對シテ正式豫算ガ計上サレテ居ナイ、斯クノ如クデアリマシタナラバ、何ボ獸醫師ガ一生懸命ニヤラウト思ヒマシテモ、獸醫師ニ對スル政府ノ助成掩護射撃ガナケレバ、幾ラ

法律ヲ作ツテ下サイマシテモ、何等良イ成果ヲ産ムコトハ出來ナイト思フ、假令何百人作ツタト言ヒマシテモ、年齡低下ヲシテ幾ラ數ヲ多ク作ツテ見タ所デ偶像の獸醫師ガ出來タノデハ何ニモナラナイ、ヤハリソレニ地位ヲ與ヘ力ヲ與ヘ感激サセテコソ、初メテ政府ノ目的デアル馬ノ増産ノ計畫モ確立シマスシ、サウシテ良イ馬モ出來ルコトニナル、今回馬事會ト云フモノガ生レマシタ、馬事會ハ馬事ノ綜合指導ヲサレルノデアリマスガ、唯單ニ馬事ノミニ拘ハラズ畜産全體ガ今日ノ時局下ニ於テハ必要デアル、斯ウ云フ點カラ私ハ先般來畜産局長ノ御言明ハ得テ居リマスガ、特ニ有畜農業ニ對シテ絶大ナル推進力ヲ持ツテ居ラレマスル井野農林大臣ノ馬増産ト技術資源ノ確保ニ關スル御所見ヲ聽キ、次ニ馬政局長官ノ之ニ對スル御所見ヲ聽イテ、又改メテ質問シタイト思ヒマス

○井野國務大臣 只今野溝委員ハ獸醫師ニ對シテ、補助金ガナイカラ冷淡ト云フ御話デアリマスガ、無論必要ガアレバ補助金ハ是ハ出サナケレバナリマセヌ、併シ補助金ガアルナシデ政府ガ冷淡デアルカドウカラ御判斷ニナルコトハ、是ハ少シ行過ギハシナイカ、現ニ補助金政策ト云フモノニ付テモ再檢討シロ、補助金バカリデハイカスト云フ論モ相當アルノデアリマス、デアルカラ政府ノ政策ハ補助金ガ出テ居レバ親切デアアル、補助金ガ出テ居ナケレバ不親切ダト云フコトハナイノデアリマシテ、獸醫師ニ對シテハ從來畜産局時代カラ極メテ色々ナ點デ御世話モ致シ、獎勵モシテ居ルノデアリマス、隨テ今後モ若シモサウ云ツタヤウナ點デ、ドウ云フ金ガ要ルト云フコトガハツ

キリシテ參リマスレバ政府トシテモ十分ニ考慮シテ參リタイト斯ウ考ヘテ居リマス

○栗屋政府委員 今回日本馬事會ノ成立ニ當リマシテ、日本獸醫師會、道府縣獸醫師會モ其ノ構成員ニナツタノデアリマス、馬事ニ關シマシテモ獸醫師會、獸醫師ノ諸君ニ大イニ貢獻ヲシテ貰ハナクテハナラヌト思ツテ居リマス、又技術ノ向上等ニ付キマシテモ大イニ切磋琢磨ヲセラルヤウニヤツテ戴キタイト思ヒマシテ、ソレ等ノ働キニ若シ必要デアリマスナラバ、色々獎勵施設モ馬事會トシテ考ヘテモ宜シイ、左様御諒承ヲ願ヒマス

○野溝委員 補助政策ニ付キマシテ只今農林大臣カラ御説明ヲ伺ヒマシタガ、勿論私達モ補助政策ト云フモノヲ全面的ニ要求スルモノデモナケレバ、承認スルモノデモアリマセヌ、實際ニ政治ヲヤル上ニ於テ技術資源ガ必要ダ、現在ノ技術資源ト云フモノデハマダ微力デアアル、微力デアルケレドモ國家ハ國策トシテ馬ニ對スル増産計畫ヲ是カラヤルト云フヤウナ場合デアリマス、特ニ其ノ増産計畫ヲヤリマシテモ、實踐能力ノナイヤウナ増産計畫デハ本當ノ増産ハ出來ナイ、目下馬増産ノ缺陷ハ優能技術資源ノ不足デアアル、例ヘバ馬ヲ交尾サセルニモ唯單ニ馬ヲ掛ケレバ宜イト云フヤウナコトデナイ、細心ノ技術上ノ注意ヲシナケレバナラヌ、牝馬ニ藁沓ヲ穿カシテ置カナケレバイカストカ、出產上ニ就テ等ノ手當處置指導ハ獸醫師ガヤラナケレバナラヌ、又人工交尾ヲ致スニ致シマシテモ、受胎率ノ成果ト云フコトニ對シテモ細心ノ注意ヲ拂ツテ行カナケレバナラヌ、斯ウ云フ點ニ付テ今日ノ獸醫師ニハ、マダソレヲ研究スルトカ、調

査スルトカ、技術訓練ニ對スル餘力ガ非常ニ足リナイ點ガアル、サウ云フ點ニ付テハ國家ガ必要ナル増産目標ニ到達セシメルニハ、是等技術ニ對シテ助成シ完壁ヲ期シテ貰フコトニ援助シテ貰ハナケレバナリマセヌ、斯ウ云フ意味ニ於テ私ハ國家ノ要請ノ必要ナル所ノ事業ニ對シテ助成シロト云フノデアリマスカラ、私ノ助成論、私ノ補助政策論ト云フモノハ私ハ間違ツテ居ラヌト思フ、斯様ナ意味ナラバ農林大臣モ私ノ助成論ニ對シテ贊成シテ下サルダラウト思フガ、如何デアリマスガ

○井野國務大臣 私モ能ク其ノ内容ヲ伺ヒマシテ、技術者ノ養成ノ爲ニドウ云フ點ニ、ドウ云フ費用ガ要ルト云フコトガハツキリ分ツテ參リマスレバ、又ソレニ對シテハ無論今後モ考ヘテ參リタイト思ヒマス

○野溝委員 ソレダケノ御答辯ヲ得テ置ケバ、何レ又一ツノ案ヲ立テテ要請シマスカラ宜シク御願ヒシマス

馬政局長官ノ御答辯中ニ斯ウ云フコトガアツタノデアリマス、獸醫師會モ必要ナラバ大イニ考ヘルト言ヒマスケレドモ、勿論馬事會ヲ設立スルニ當ツテハ、馬事會ノ構成要素トシテ獸醫師會ガソレニ入ル、又裝蹄師會モソレニ入ツテ居ルノデアリマスカラ、勿論是ハ一ツノ防疫護蹄衛生ノ方面カラ見テ當然デアアル、デアリマスカラ之ニ對シテハ寧ロ私ハ農林大臣ヨリハ、主務長官トシテ積極的ニ、其ノ技術資源ノ發展ノ爲ニハ全力ヲ擧ゲテ萬全ヲ期シ、是ガ完壁ヲ期スル積リデゴザイマスト云フ御答辯ヲ聽キタイト思ツタノデアリマスガ、案外消極的ノ御答辯デ一寸意外トシテ居ルノデアリマス、只今ノ御答辯ハ私ト同一意見ノ意

味デアリマス

○粟屋政府委員 御註文通りノ答辯デナイノ
デ甚ダ御不滿ノヤウデアリマスガ、日本馬
事會ニ入ラレタ以上、大イニ獸醫師會ノ活
躍ヲ期待シテ居ルノデゴザイマスガ、先程
大臣モ御答ヘニナリマシタヤウニ、今後行
ハレル所ノ御働キ、色々ナ施設、サウシタコト
ガドウ云フモノデアルカ、其ノ必要ニ應ジ
テ考ヘタイト思ツテ居ルノデアリマス、今
直チニ必ズ補助ヲ致シマス、斯ウ云フヤ
ウニ言明スルコトモドウカト存ジマスガ、
此ノ獸醫師會ノ將來ノ御働キニ付キマシテ
ハ、十分ニコチラモ期待ヲシテ居リマスカ
ラ、ソレニ從ヒマシテ必要ナル經費デアリ
マスナラバ、十分ニ考ヘテ見タイト思ヒマ
ス

○野澤委員 次ニ馬匹購買矛盾ニ對スル質
疑ヲ一點シテ見タイト思ヒマス、只今松
本君カラ馬匹購買ニ關シテノ質疑ガア
リマシテ、特ニ之ニ對シテハ農林大臣
カラモソレニ對シ、新タニ助成ヲシタト云
フコトヲ伺ヒマシタ、併シソレダケデハ問
題ハ解決シテ居ラスノデアリマス、私馬匹
購買ニ關シマシテ農林大臣ニ對シ、陳情要
請ヲシテ居ツタノデアリマス、御承知ノ通
リ馬ノ公定價格ハ、軍用保護馬ノ三才以上
ノ公定價格ガ最高九百圓、最低四百圓、二
才ガ最高六百五十圓、最低四百圓ト云フコ
トニナツテ居リマス、所ガ馬ト云フモノハ
實際ニ賣買スル時ニハ、最低價格ト最高價
格トアリマシテモ、大體ハ今日ノ如キ所謂
物資不足、即チ馬ノ不足ノ時代ニ於キマシ
テハ、最低ト最高ノ値段ハ決メラレテ居リ
マシテモ、殆ド最低價ルト云フコトハナ
イ、實際ノ商ヒトシテハ最低價格ガ最高價

格ニナツテ居ル、デアルカラ三才以上ノ馬
ヲ買フ場合ニハ大體九百圓内外、闇ニ依ツ
テ九百圓以上ニモナルノデアリマス、闇ノ
コトハ別問題デアリマスケレドモ、デアリ
マスカラ三才以上ハ中々手ニ入ラナイ、所
ガ二才ノ馬ヲ買ツテ來ヨウト思フノデアリ
マスガ、二才ノ馬ハヤハリ最高ガ六百五十
圓、ココデ半年經ツト三才ニナル、三才ニ
ナルト九百圓ニ賣レマスカラ二百五十圓儲
カル、ダカラ中々出サナイ、斯ウ云フ點デ
先程松本君ノ言ハレタヤウニ、地方ノ飼育
者ハ非常ニ困ツテ居ル譯デス、ソコデ軍ガ
馬ノ購買ニ來ラレタ場合ニ、購買値段ノ價
格ガ自分ノ買ツタ値段ヨリハ何時モ安イ、
又偶、自分ノ買ツタ値段デ賣却スルコトガ
出來マシテモ、諸テ今度買フト云フコトニナ
ルト、買ツタ當時ノ値段ニ、遙カニ數字ヲ加
ヘナケレバ買ヘナイト云フ事情ナノデアリ
マス、ソコデ是ガ問題ニナリマシテ、政府ニ各
方面カラモ色々意見、陳情モアツタと思フ
ノデアリマス、農林大臣ハ此ノ點ニ對スル諒
解ヲサレマシテ、先般助成ヲサレマシタ、
併シソレハ七月以前デアリマス、其ノ金額
ハ相當デスガ、金ハ發表スルナト言ヒマス
カラ私モ發表致シマセス、ソレガ爲メ確カ
ニ地方ノ馬主ハ喜ビマシタ、ケレドモ長野
縣——自分ノ「ブロック」ノコトヲ言ツテハ
ヲカシイノデスガ、私ノ地方デハ九月頃ニ
購買官ガ來マシテ、馬ヲ買ハレタノデスガ、
安イ値段デ一般ハ失望シタノデアリマス、
併シ陳情ニ行キマシタ所、助成金ガ出タト
云フノデ、私ハ二割五分ノ助成金アルカラ、
ソレニ依ツテ良イノヲ買ツテ來イト言ツテ
居ツタガ、今カ——ト待ツテモ、何時マデ經
ツテモ來ナイ、所ガソレハ七月以前ノ購買ニ

對スル助成デアリマシテ、七月以後ノ購買
ニ對シマシテハサウ云フ助成ハ受ケテ居ラ
スノデアリマス、七月以前ト七月以後トニ
補助ノ差ヲ付ケタノハ何故デスカ、ソレカ
ラ七月以後ニ於キマシテモ、其ノ價格ノ餘
リ安イノハ之ヲ補助スル意思ガアルノカナ
イノカ、此ノ點ヲ一ツ御伺ヒシテ見タイト
思ヒマス

○井野國務大臣 只今ノ問題ニ付テハ七月
十五日トカ云フヤウナ日ハ限ツテナイ筈デ
アリマス、軍ガ其ノ後購買價格ヲ上ゲテ居
リマスカラ、上ゲナカツタ以前ノ價格ニ對
シテハ補助ヲスルコトニシテ居リマス、デア
リマスカラ大體現在ノ軍ノ買入價格デアリ
マスレバ、サウ以前ノヤウナコトハナイノ
デアリマス、モウ是レ以上補助スル意思ハ
持ツテ居リマセス

○野澤委員 政府ニ於キマシテハ二才ノ六
百五十圓、三才ノ九百圓、其ノ間ニ一本入
レマシテ七百五十圓ト云フ三本建ニナツタ
ノデアリマスガ、併シ七月以前デアラウト、
以後デアラウト、サウ云フコトヲ補助條件
ニシタノデハナイ、七月以前ノハ軍ノ購買
價格ガ安カツタカラサウシタノデアアル、ソ
レ以後ハ高クナツテ居ルト言ヒマスケレド
モ、ソレハ一體何處ヲ標準ニサレテ高クナ
ツテ居ルト言フノデスカ、其ノ標準ノ點ヲ
一ツ御伺ヒシテ見タイト思ヒマス

○粟屋政府委員 日ハハツキリ今私記憶シ
テ居リマセス、調ベテモ宜シウゴザイマス
ガ、軍ノ方デ徵發ニ對スル代價金ヲ高メ
ル制度ヲ執ラレタ、ソレヲ高メラレテ以後
ハモウ其ノ適用ハ致サナイノデアリマシテ、
大體ハ九月頃ト思ヒマスガ、其ノ恩典ニハ
浴サナイ、七月以後相當ノ徵發ガアリマシ

テ、之ニ對シテ其ノ代價ヲ上ゲラレマデノモ
ノニ付キマシテハ、相當開キガアツタヤウナ實
情デアリマスカラ、ソレニ對シテ補助ヲスル、ソ
レ以後ハ致シマセス、斯ウ云フ譯デアリマス
○野澤委員 私ハ是レ以上此ノ問題ニ付テ
質疑ヲ致シマセス、唯希望ヲ申上ゲテ置キ
マスガ、馬ノ價格ヲ決メルト云フコトハ實
ニ面倒ナコトデアリマシテ、生物デアリマ
スカラ、特ニ飼養管理ノ關係デ餘程違ヒマ
スシ、其ノ他飼料ニ依ツテモ或ハ購買官ノ
眼識等デ違ヒマス、色々ノ點ニ於テ非常ニ
價格決定ハ面倒ナコトデアリマス、併シ全
ク生産飼育者ガ購買サレタ價格デ手ニ入ル
ト云フ程度ノ價格形成スルコトニ能ク考ヘ
テ戴キタイノデアリマス、其ノ點ト今一ツ
ハドウシテモ私ハ馬ノ分布調整ガ必要デア
ルト思ヒマス、例ヘバ生産地、飼育地、使
役地ト云フ三段階ニ分ケマシテ、此ノ生産
地ハ飼育地ニドウ向ケル、飼育地ハ使役地
ニドウ向ケルト云フヤウナ、生産、飼
育、使役ノ點ヲ能ク配合ハセマシテ、
サウシテ生産者ガ利益ヲ獲斷スル爲メ飼育
地ガ之ヲ買ヘナイト云フコトニナレバ、ヤ
ハリ馬産目的ヲ達スルコトガ出來マセス、
又使役地ニ於キマシテモ、生産地ニ於キマ
シテモ高クテ手ニ入ラスト云フコトニナル
ト、是ハ馬産ノ目的バカリデハナク、一般
ノ産業ニ影響スルコトデモアリマス、斯ウ
云フ點ヲ能ク考慮サレマシテ、生産者モ飼
育者モ使役者モ比較的平均ノ取レルヤウナ
建前ニ價格形成ヲ考ヘテ戴キタイト思ヒマ
ス、ソレハ勿論條件ハ何レモ生産飼育費ヲ
割ラヌ程度ノコトニシナケレバナラスノデ
スガ、ドウカ生産飼育ノ基準算定ヲ十分ニ
當局ハ御考慮ヲ拂ハレムコトヲ特ニ切望シ

テ置キマス

最後ニ一ツ御伺ヒシテ置キタイノデスガ、最近農林省ニ色々ノ國策會社が出来テ居リマス、其ノ中ノ私ハ日本原皮會社ニ對スル質問ヲ致シタイト思ヒマス、資材不足ノ折ニハ何ト言ヒマシテモ生産者ニ希望ヲ持タセ、生産者ニ一ツノ氣力ヲ與ヘルト云フコトデナケレバ、物資不足ノ問題ノ解決ハ容易デナイト思ヒマス、ソレハドノ點ニモ當嵌マル意見デアルト思フデアリマス、然ルニ此ノ原皮會社ノ内容ヲ見マスト——是ハ獨リ農林省ノ國策會社バカリデハアリマセヌ、商工省ノ國策會社ト雖モ、大藏省ノ國策會社ト雖モ評判ガ餘リ好クナイ、此ノ原皮會社ハ別ケテモ斯ウ云フ點ニ付テ一般ニ不滿ノ感ジテ居ルデアリマス、ソレハ生産者ノ作ツタ原皮ト云フモノガ、製品トノ間ニ餘リ格差ガアルデアリマス、例ヘバ牛ノ原皮一枚ガ一等品デ大體三十三圓六十五錢、工賃ガ一枚九圓五十錢デ、四十三圓十五錢、然ルニ製品ハ大體一等品ニ於テ五十八圓七十五錢、是ダケデモソコニ十五圓バカリノ利益ガアル、然ルニソコニ中底ト云フモノガ出来マス、中底ハ十七圓三十九錢儲カツテ居ル、ソコニ切端ナドモアル、毛及ビ切端ナドハ何處ニ隠レカサツパリ分リマセヌガ、是ナドモ大イニ考ヘテ毛切端ノ統制モ必要デアルト思ヒマスガ、切端ハ一枚カラドノ位出ルカト云フト、一枚カラ五圓位出テ居リマス、サウスルト一等製品デハ五十八圓七十五錢、中底ノ十七圓三十九錢、切端ノ五圓ト云フモノハ計八十一圓十四錢、是ハ概略デアリマスガ、利益ガ三十七圓九十九錢、約三十八圓バカリ儲カル、大體生産原皮ノ値段ト殆ド同ジ程度ノ

利益ガアル、是ハ全部デアルカドウカ知リマセヌ、併シ斯ウ云フ意見ガ各方面カラ出テ居ル、又豚ノ如キニ於キマシテモ、豚ノ原皮一枚ガ大體二圓三十錢ト云フヤウナ公定デアリマス、ソレニ工賃ガ二圓六十錢加ハリマス、四圓九十錢ト云フモノハ生産原皮ノ費用デアル、所ガ製品ノ方ニ行キマスト、一枚ガ八圓八十錢、ソレカラ切端ガ大體ニ於テ一圓位出マス、毛ガ大體八十錢、計十圓六十錢、差引五圓七十錢モ儲ケテ居ル譯デアリマス、斯ウ云フ非常ナ差等ガアリマスノデ、生産者アタリハ非常ニ色々ノ意見ヲ申シテ居リマス、是ハ獨リ原皮ダケノ問題デハアリマセヌガ、特ニ本委員會ニハ、畜産ニ關係シテ法律案ノ出テ際デアリマスカラ、特ニ私ハ今日質問シテ居ルデアリマスガ、最近食肉會社ナドガ出来テ、食肉統制上ニ對シテ生産者ト會社トノ間ニ色々異見ガアリマスガ、結局問題ハ此ノ原皮ノ問題ガ片付イテ、生産者ト製品トノ間ノ價格差ノ問題ガ相當片付イテ來レバ、此ノ食肉統制ノ運営ニ當リマシテモ、生産者ノ方ニモツト利益ヲ與ヘルコトガ出来ルヤウニナルノデハナイカト考ヘテ居リマス、此ノ點ニ對スル監督當局ノ御所見ヲ承リタイト思ヒマス

○岸政府委員 只今ノ原皮ノ價格ノコトノ御尋ネハ、多分原皮ノ値段ヲモウ少シ生産者ニ有利ニセヨト云フ御話ドラウト思ヒマサガ、原皮ノ價格ハ十三年八月ニ決ツタ後、手ヲ加ヘテ居リマセヌ、其ノ後ニ於テ色々御要望モアリマシタノデ、統制會社モ、内地ノ二ツノ原皮會社ヲ併セ、更ニ移入輸入ヲ併セテ一ツノ會社ニシテ運營業ヲ合理化シヨウトシテ日本原皮株式會社ヲ作ツタ譯デ

アリマス、是等ノ設立及ビ只今御話ノ食肉統制會社ノ設立、是等ヲ睨合ハセマシテ、原皮ノ價格ニ付テノ改正ヲスルト云フコトニ付テハ考究シテ居リマス、今御示シノヤウナ點ニ付テモ十分考ヘテ、妥當ナル所ヲ決メタイト考ヘテ居リマス、御諒承願ヒマス

○野澤委員 終リマシタ

○三善委員長 土屋清三郎君

○土屋(清)委員 成ベク簡略ニシテ三點バカリ伺ヒタイデアリマス、一ツハ國有林ノ下草ヲ、附近ノ農民ガ堆肥ヲ作ル目的デ刈取ルコトノ出来ルヤウニシテ戴ケルカドウカト云フコトデアリマス、是ハ昨年此ノ議會開會前ニ、調査會ノアリマシタ際ニモ私伺ツタノデアリマスガ、其ノ時ハ木ノ發育ガ惡クナルト云フコトデ、ムヅカシイヤウナ御話デゴザイマシタノデ、御研究ヲ願ツテ置キマシタケレドモ、其ノ後私ガ段々實際家ニ聞イテ見ルト、却テ木ノ發育ヲ良クスル養分ヲ雜草ノ爲ニ取ラレルノヲ木ノ方ニ向ケルカラ木ノ發育ガ良クナルト云フコトデアリマス、今日農民ガ國策ニ順應シテドシノ増產ヲシナケレバナラヌト云フ時ニ、一面ニハ肥料ノ缺乏ニ非常ニ困ツテ居ル際デアリマスカラ、此ノ際コソ政府ハ之ヲ農民ノ爲ニ開放シテヤルコトガ適當デハナイカ、斯ウ考ヘマスノデ、此ノ機會ニ此ノ點ヲハツキリシテ戴キタイト思ヒマス

○井出政府委員 只今自給肥料ノ増產ヲ農業者ニ十分ニヤラセル爲ニ、其ノ關係地方ニアリマス國有林内ノ下草ヲ出来ルダケ此ノ方面ノ人ニ採取利用セシムルヤウニト云フ御意見ヲ承リマシタガ、此ノ點ニ付テハ

私共モ全然御同感ニ存ジテ居ル次第デアリマス、過般モ此ノ肥料ノ不足ニ對應スル爲ニ自給肥料、堆肥ヲ此ノ冬カラ相當積極的ニ作ラナケレバナラナイト云フヤウナ運動ニ當リマシテモ、國有林方面ニ於キマシテハ、率先シテ其ノ原料ニ充テル下草ヲ提供スルヤウニト云フコトヲ各營林局署ヘハ最近モ通ジテアル次第デアリマス、デアリマスカラ、其ノ地方々々ニ於キマシテ、其ノ草ヲ利用シテ左様ナ方面ニ使ハレル向ハ、ドウゾ積極的ニ關係ノ營林局、或ハ營林署、又其ノ下ノ擔當區等ニ連絡ヲ願ヒマシテ、之ヲ御利用戴イテ宜イ積リデアリマスシ、又サウ云フコトニ付テハ今後トモ萬全ノ措置ヲ執ツテ參リタイト思ツテ居リマス

○土屋(清)委員 有難ウゴザイマシタ、是デ私共ノ方ノ國有林ヲ持ツテ居ル隣ノ農民ハ非常ニ助カルト思ヒマス、モウ一ツ御伺ヒシタイノハ、最近住宅營團ガ出来マシテ、國策ノ名ノ下ニ家ヲドシノ建テル、其ノ敷地ヲ獲得スル方法デアリマスガ、最近私ノ見聞シタ所ニ依リマス、平ラデ非常ニ良イ耕地デドシノ麥ナドヲ作ツテ居ル所ヘ、營團カラ行ツテ之ヲ營團ノ住宅敷地ニスル、農民ノ方カラソレハ困ルト言フト、營團ノ人ハ是ハ國策デアルト云フノデ中々承知シナイ、現ニ只今モ私ノ所ヘ色々懇ヘテ參ツテ居ルデアリマスガ、之ニ對シテ農林省ハドウ云フ御方針デアリマスカ、今申シタ例ハ既ニ相當面積ヲ營團デ敷地ニシタ上ニ更ニ又其ノ附近ノ相當廣イ面積ヲ敷地ニ取上ゲヨウトシテ居ル、其ノ爲メ其ノ部落數十戸ノ農民ハ、他ニ良イ耕地ガ無クナツテシマウト云フ狀態デ非常ニ困ツテ居

ル、食糧増産デ國ヲ學ゲテ一生懸命ニヤツ
テ居ル際ニ、國策トハ言ヒナガラ、現ニ立派ニ
耕作シテ居ル平ラナ立派ナ上田ヲ取ラナイ
デモ、傾斜地ナリ、或ハ山林ナリ他ニ求メ
テモ決シテ困難デナイノニ、斯ウ云フ平坦
ナ上田ヲ取ラウトスル趣旨ガ分ラナイノデ
ス、營團ノ人ニ聴イテ見ルト、傾斜地ナド
ハ地形ヲスルノニ費用ガ掛ルカラ、アア云
フ平坦ナ所ヲ求メルノダト云フコトデアリ
マスケレドモ、農林省ノ方針トハ大ニ食違
ツテ居ルヤウニ私ハ考ヘルノデアリマス、
此ノ點ニ對シテドウ云フ御方針デアリマス
カ

○岸政府委員 便宜上私カラ御答ヘ致シマ
ス、住宅營團ノ用地ニ付キマシテハ、厚生
省ト十分連絡ヲ執リマシテ、サウシテ其ノ
點ニ付キマシテハ私共ノ執ツテ居ル方針ニ
從ツテ、或ベク美田ナドハ潰サヌ方針ヲ執
ツテ居ルコトハ間違ヒナイノデアリマス、
同ジ田圃、同ジ畑デアツテモ、良イ所ヨリ
モ成ベク利用價值ノ少イ所ヲ選ブヤウナ方
法ヲ考ヘテ居リマス、併シヤハリ纏メテ造
ルトカ、交通其ノ他色々ノ關係カラ言ツ
テ、ドウシテモ已ムヲ得ナイト云フヤウナ
事情モアルヤウデアリマスノデ、サウ云フ
所ハ致シ方ナク是ハ認容シテ居ルノデアリ
マス、大體向フトモ十分打合セヲシマシテ、
成ベク支障ノ少イヤウニスル、或ハ面積等
ニ付テモ面積ノ廣イ所ヲ縮メテ貰フ、又甲
ノ土地ヲ選バズニ乙ノ土地ヲ選ンデ貰フト
カ云ツタヤウニ、仔細ニ打合セヲシテ居
リマシテ、其ノ點ハ今後共十分注意シテヤ
ツテ行キタイト思ツテ居リマス

○土屋(清)委員 現在同ジ地域内道路ヲ
隔テテ前ニハアツテノ方ヲ可ナリ取ラレテ

居ル、次ニ又コツチヲ取ラレルトナルト、
先祖以來百姓ダケヤツテ來タ農民ト云フ
モノハ、外ニ方法ガナイノデ、何トシテモ
判ヲ捺サナイ、所ガ其ノ土地デ、前ニ警察
署長ヲヤツテ居ツタ者ガ營團ノ方ニ行ツテ
居ツテ、ソレガ夜ノ九時、十時頃マデ座リ
込シデヤカマシク談判スル、是ハ國策ダ、
若シ判ヲ押サナイナラバ、土地收用法ヲ適
用シテ取上ゲルヨリ仕様ガナイ、斯ウ云フ
態度ヲ執ツテ居ル、斯ウ云フコトハ一ツ農
林省ニ於テ御注意願ヒマシテ、サウ云フコ
トノナイヤウニ願ヒタイトヒ思マス、恐ラ
クソナ問題ハ今マデ農林省ノ方ニ聞エナ
イカモ知レマセヌガ、土地ト離レラナイ
生活ヲシテ居ル農民ニ取リマシテハ、中々
重大ナ問題ダト思ヒマスカラ、サウ云フ場
合ニハ許可ニナラナイヤウニ出來マセヌ
カ、ソレトモ何デモ彼デモ土地收用法デヤ
ル、サウ云フ營團ノ人ノ申分ニ御同意ニナ
リマスカ

○井野國務大臣 農地ノ潰滅ト他ノ國家的
事業トノ關係ニ付キマシテハ、農林省モ十
分考慮致シマシテ、今マデ農地管理令ノ運
用ニ當ツテ居ルノデアリマス、今御話ノヤ
ウナ問題ハ時々私モ聞キマシテ、耕地保全
ノ爲ニ、且ツ農村ノ維持ノ爲ニ、相當ニ不
認可ニシテ參ツテ居ル事例ガ澤山アリマス、
サウ云フヤウナ氣持ヲ以テ進ンデ居リマス
ノデ、眞ニ已ムヲ得ナイモノハ是ハ致シ方
アリマセヌケレドモ、サウデナイモノハ成
ベク許サナイヤウニ致シテ參リタイト思ツ
テ居リマス

○土屋(清)委員 ソレカラモウ一ツハ農
家ガ自分デ作りマシタ實物ニモナラナイ、
即チ屑米デアルトカ、芋デアルトカ、總テ

賣物ニナラナイ自分ノ家デ出來タ廢物ヲ以
テ自家用ノ酒ヲ造ルコトヲ此ノ際農林當局
ニ於テ御考慮下サレテハドウデアルカ、斯
ウ云フ時局ニサウ云フ質問ハト御考ヘニナ
ル方ガアルカモ知レマセヌカ、私ハ今日ノ
時局ナルガ故ニ此ノコトヲ特ニ御尋ネスル
ノデアリマス、ト申シマスノハ、是ハ大臣
御承知ト存ジマスガ、會テ齋藤内閣ノ時
ニ、米ガ出來過ギテ値ガ下ツテ困ル、一面
ニハ減反ヲヤラウト云フ意見マデ出マシタ
時ニ、私ハ高橋大藏大臣ニ向ツテ其ノ解決
ノ方法トシテ、米ヲ以テ飴ヲ造ル、甘酒ヲ
造ル、是ナドハ罐詰ニシテ外國ニ輸出モス
ル、ソレカラ農家ニ自家用ノ濁酒ヲ認メテ
ヤツタラドウカト云フコトヲ申シマシタ時
ニ、高橋サンハ實ニ世ニハ不思議ナコトガ
アルモノデアツテ、自分ハ今丁度其ノコト
ヲ考ヘテ居ツタノヲ土屋君カラ質問ヲサレ
タ、農家ノ人ガ自分デ作ツタ米デ、働イテ
疲レタ後ニ飲ム酒ヲ自分デ造ラレヌト云フ
コトハ實ニ氣ノ毒ダ、是ハマダ政府ノ方針
トシテ決定シタ譯デハナイガ、私ハ同僚ニ
モ話シテ、是非ノヲ實現スルヤウニシタイ、
斯ウ云フ答辯ヲサレマシタノデ、私ハ全國
ノ農民ガ之ヲ聞イタナラバ、定メシ感激ス
ルデアリマセウ、斯ウ申シマシテ、席ヲ起
チマス、前ノ農林大臣デアツタ石黒サン
ガ其ノ時慥カ農務局長デアツタト思ヒマシ
タガ、廊下デ私ノ手ヲ握ツテ、實ニ今ノア
ナタノ質問、ソレカラ大藏大臣ノ答辯ニ對
シテハ、自分ハ農林省ノ一員トシテ何トモ
言ヘナイ感ジガシタ、ト云フノハ吾々農林
當局ノ方カラ見ルト、農家ガ自分ノ家デ食
ベル物ハ自分デ作ツタ物デヤツテモ宜カ
ラウ、セメテ酒位ハ自分ノ家デ穫ツタ物

デ造ル、煙草モ自分ノ畑ノ隅デ作ツタ物ヲ
爪切煙草ニスル位ノコトハヤツテモ宜カラ
ウ、兎ニ角酒ダケデモ許シタイト大藏省ニ
何遍モ足ヲ運ンダ、所ガ大藏當局ハ今ノ高
橋大藏大臣ガ絕對ニ反對デカラ、ドウシテ
モ出來ナイト云ツテ斷ラレタ、所ガ其ノ高
橋サンガ今アア云フ賛成ノ意見ヲ述ベラレ
タノデ、實ニ今日ハ何トモ言ヘナイ感ジガ
シタ、斯ウ言ハレマシタ、ソレガ新聞ニ出
マス、前ニ秋田縣カラ代議士ニ出タコト
ノアル近江谷榮次ト云フ方ガ私ニ手紙ヲ寄
越シマシテ、新聞デ貴君ノ質問ニ對スル高
橋サンノ答辯ヲ見テ、自分ハ實ニ嬉シク思
フ、ト云フノハ我が秋田縣ハ全國デモ密造
酒ノ尤ナル縣ニ算ヘラレテ居ル、寒イ土地
デ働ク農民ガ家ニ歸ツテ一日ノ疲レヲ慰メ
ルモノハ唯酒ダケデアル、所ガ今ノ農家ノ
經濟デハ酒ノ値ハ可ナリ高ク付イテ、到底
之ヲ買ツテ飲ムコトガ出來ナイ、ソレデ部
落ノ者ガ内々組合ヲ作ツテ酒ヲ造リ、見付
カツタ時ニハ順番ニ、勞働ニ堪ヘナイ所ノ
婆サンヲ身代リニ出ス、婆サンハ無論罰金
ヲ拂ヘマセヌカラ、罰金ニ代ヘテ幾日カ勞
役場ニ繫ガレル、其ノ勞役場ニ繫ガレル婆
サンヲ「ステーション」ニ見送ル部 落ノ者
ハ、驛デ「萬歲」ヲ唱ヘル、斯ウ云ウ光景ハ聖
代ニアルマジキ怪事デアル、實ニ農家ニ自
家用ノ濁酒ヲ許サヌト云フ今ノ制度ハ實ニ
悲シムベキ制度デアル、之ヲ何トカ自分ガ
議員ニ出テ居ル間ニ解決シヨウトシテ、色
色大藏當局ニモ内意ヲ聴イテ見タケレドモ、
到底聽カレナイ、隨テ議會ニ於テハ公然
之ヲ主張スル機會ガナカツタガ、今新聞ヲ
見ルト、貴君ガ之ヲ問題ニシテ、有力ナ大
藏大臣ガアア云フ答辯ヲサレタノデ洵ニ喜

第 六 類 第 二 號 米穀需給調節特別會計法中改正法律案委員會議錄 第十三回 昭和十七年二月九日

バシイ、ドウカ一日モ早く此ノ惡イ制度ガ改革サレテ、サウシテ働ク農民ノ生活ニ潤ヒヲ與ヘルヤウニシテ貰ヒタイ、斯ウ云ウ長イ手紙ヲ寄越サレタノデアリマス、所ガ其ノ後ソレニ動かサレマシテ地方カラ請願ガ出マスルト、今度ハ大藏事務當局ハ絶對ニ之ニ反對シテ、主税局長ガ請願委員會ニ出マシテ、高橋サンガア言ツタノハ高橋サン個人ノ意見デアツテ、政府トシテハ到底之ニ同意スルコトハ出來ナイと言ツテ反對シテ、成程國ノ收入、財政ノ上カラ見レバ、今農家ニ自家用ノ濁酒ヲドン／＼造ラレト云フコトニナルト困ルト云フ事情モアルダラウト思ヒマシテ、私ハ爾來其ノ問題ハ其ノ儘ニシテ居ツタノデアリマスガ、今日ハ御承知ノ通り農家ノ經濟ト云フモノハ自分ノ生産シタモノノ値段ハ低物價デ抑ヘラレテ、生活ニ必要トシテ買フ品物ノ値段ハ非常ニ高クナツテ居ル、殊ニ酒ハ統制ニ依ツテ量モ少クナツテ、値段モ高クナツテ農民ハ之ヲ手ニスルコトガ容易デハナイ、此ノ際立派ニ賣レル米デ賣ルコトノ出來ナイ屑米或ハ屑芋等ヲ以テ自分デ工夫シテ、自分ノ家デ飲ムモノヲ造ルコトヲ認メルト云フコトハ物資不足ノ今日、廢物ヲ利用シテ、農民ノ經濟ヲ助ケルバカリデナク、農民ノ健康ノ爲ニモナル、此ノ頃働ク者ノ飲ム酒ハ、非常ニ惡クナツテ健康ヲ害スルコトモ少クナイト考ヘルノデアリマス、是ガ自分デ造ツテ居ルナラバ、惡イモノヲ混ゼルト云フ心配モナシ、洵ニ一舉兩得、其ノ上ニ自家用ノ濁酒ニ對シテ町村ニ於テ一定ノ稅ヲ課ケルト云フコトニナレバ、町村ノ財政ヲ助ケルコトニモナラウ、斯ウ考ヘルノデアリマス、是ハ農林當局一個ノ意見デ解決サレル問題

デハナイト存ジマスルケレドモ、今日此ノ非常ナ秋ニ當ツテ働ク者ヲ戰線ニ送ツテ人ノ手ハ少ク、肥料モ十分手ニ入レルコトガ出來ナイ、年寄モ子供モ一家總動員デ一生懸命増産ノ爲ニ働イテ居ル、此ノ農民ニ向ツテ、其ノ生活ニ潤ヒヲ與ヘ、元氣ヲ與ヘルト云フコトハ農林當局トシテ御考ヘ願ヘルコトト存ジマス、殊ニ先ニ申シマス通り石黒サンノ當時カラ、ドウカ此ノ位ノコトハ農民ニサセテ農民ノ生活ニ潤ヒヲ與テヤリタイ、元氣ヲ與ヘテヤリタイト云フコトガ、農林省ノ方々ノ御考ヘニナツテ居ルコトデアルト致シマスレバ、今日コソ此ノ問題ヲ解決シテ戴クベキ時期デハナイカ、斯様ニ考ヘルノデアリマス、多年農林省ノ生エ抜キデアツテ、且ツ全國ノ農民カラ絶大ナル尊敬ヲ受ケテ居ル井野農林大臣ノロカラ私ノ此ノ問ヒニ對スル御答ヘヲ聞キマスルコトハ、私ダケデナク、恐ラク全國農民ノ眞ニ切實ナル希望デアラウト考ヘマスノデ御尋ネ致シマス

○井野國務大臣 私ガ自ラ權限ヲ持ツテ居ル問題デアリマスレバ、ハツキリ此ノ機會ニ色々ノ意見モ申上ゲマスガ、農林省ダケデ決メ得ナイ色々ノ事情モアルノデゴザイマス、農民ガ自分ノ作ツタモノヲ自分デ處理スルト云フ大體ノ行キ方ニ付テハ、米麥其ノ他ニ付テモ現在サウ云フ方針ヲ執ツテ居ルノデアリマス、唯今日ハ全般的ニ食糧ガ一般ニ窮乏ナシデアリマスカラ、斯ウ云フ時ニサウ云ツタ制度ヲ直グ執ラセルガ宜イカドウカト云フコトニ付キマシテモ、十分考慮シナレバナラナイト思ヒマスガ、農林省ト致シマシテモ十分此ノ問題ニ付テハ今後能ク研究シテ見タイト思ヒマス

○土屋(清)委員 ドウカ一ツ御考慮ヒタイ、私ノ申シマシタノハ、屑米デアツテ賣物ニモナラヌ廢物ヲ以テ農民ノ飲ム「アルコール」ヲ自分デ造ラセヨウト云フ趣旨デアリマスカラ、食糧ヲ其ノ方ニ廻ハスト云フノデハナイ、農民ノ經濟ノ上カラ行キマシテモ、國ノ經濟ノ上カラ行キマシテモドノ點カラ見テモ益スル所ガアツテ、決シテ損スル所ガナイ、斯ウ云フ見地カラ伺ツタノデアリマスカラ、ドウカ其ノ意味ニ於キマシテ、一ツ政府ノ問題トシテ、農林大臣カラ強ク御主張ニナツテ、成ベク速カニ實現ノ出來マスルヤウニ御心配ヲ願ヒタイト思ヒマス、是デ私ノ質問ヲ終リマス

○三善委員長 長野長廣君

○長野(長)委員 私ハ農會ヲシテ行ハシメル所ノ共同作業ニ關スル依命通牒ノ内容ニ付テ政府委員ノ説明ヲ求メマシタ結果、特ニ農相ノ言明又ハ善處ヲ要望スル必要ヲ認メマシタノデ、茲ニ五項目ニ互ツテ農相ノ明確ナ御答辯ヲ御願ヒシタイト思ヒマス

農林省ヨリ昨年十月全國農會ニ依命通牒セラレタ農業勢力ノ調整ニ關スル通牒、農業勞働力調整ニ關スル農會ノ統制實施ノ件ノ二通牒ハ、兩通牒ノ中ニ示サレタ如ク實ニ重大ナ意義ヲ有スルモノデアリマスカラ、萬一誤解セシメルトカ、施設ヲシテ誤謬ニ陷ラシメテ農民ノ思想上ニ惡影響ヲ及ボスガ如キコトガアリマシテハナリマセスノデ此ノ際其ノ特ニ重要ナル點ニ付キ農林大臣ノ御言明ヲ求メ、又或ル點ニ付テハ更ニ完璧ヲ期スルヤウ適當ノ方法ヲ講ジ萬遺憾ナキヲ期セラレタイノデ、茲ニ數項ノ質問ヲ致ス次第デアリマス

第一ニ農林省ヨリ示サレタ道府縣農會又ハ郡農會共同作業規定例ニ依リマス、會員ハ左ニ掲グル作業反別又ハ數量ヲ共同作業ニ提供スベシトアリマス、サウシテ共同作業ハ共同耕起整理、共同採種、共同苗代、共同田植、共同除草、共同收穫、共同脱穀、共同糶摺、共同播種、其ノ他ノ作業ヲモナシ得ルコトトシ、共同作業ニハ耕作總反別ヲ提供スベキコトニナツテ居リマス、是デハ右述ベマシタ田畑耕起整理ヨリ收穫糶摺マデノ事項ヲ一貫シテヤル時ニハ共同作業ノ域ヲ踏越エル處ガナイトハ言ヘマセヌ、殊ニ勞賃ノ清算ヲ經メテ最後ニヤルヤウナコトデモアリマスルト、ソレハ明カニ共同經營ト混同セラレル虞ガアリマス、殊ニ又次官通牒ニ依リマシテハ過急金ヲ課スルト云フ規定ニナツテ居ルノデ、此ノ總反別提供、過急金ヲ課スルト云フコトニ依ツテ一層共同作業ト共同經營ト混同サレ易イノデアリマス、政府ノ説明デハ其ノヤウナ處ナシト言ハレテ居リマスガ、現ニ代議士諸君ノ人々デ本問題ヲ御知リニナツテ居ラレ方々ハ皆異口同音ニ左様心配シテ居ルノデアリマス、況ヤ全國一万二千町村ノ五百八十万農家ニ於テヤデアリマス、ソレデ此ノ際農林省トシテハ各作業毎ニ清算ヲスル、又主要ナル作業ヲバ一貫シテ行フガ如キ感ヲ與ヘシメザルヤウ注意スベキコトヲ明瞭ニスル必要ガアルト思フノデアリマス、農林大臣ノ御答ヘヲ願ヒタイノデアリマス

○井野國務大臣 只今御述べニナリマシタ共同作業ノ問題ハ總務局長カラモ御答ヘ致シマシタヤウニ、是ハ一貫シテ全部行フ趣旨デハナイノデアリマス、農會長ガ其ノ村、其ノ部落ノ現實ノ必要ニ依リマシテ、勞力補給對策トシテ行フ趣旨デアリマスカラ、

隨テ共同經營ト云フモノナドト同ジ考ヘデ
ヤラセルノデハナイノデアリマスカラ、其
ノ點ハ明瞭ニ致シテ置キタイト存ジマス

○長野(長)委員 尙ホ此ノ點ハ後述ベマ
スガ、二番ニ部落外ノ出作、又ハ飛地ノ作
業ハ土地ノ交換分合ヲ動モスレバ強制スル
處ガアルト思ヒマス、斯カル無理ナルコト
ノナキヤウニ農林當局トシテハ特ニ通牒或
ハ補助獎勵等ノ方法ニ依ツテ善處サレル必
要ガアルト思ヒマス、農相ノ御意思ハ如何
デアリマセウカ

○井野國務大臣 土地ノ交換分合等ニ付キ
マシテ部落外ノ出作ヲ共同作業トシテ行フ
ト云フコトニ依ツテ之ヲ強制スルト云フ意
思ハ持ツテ居リマセス、土地ノ交換分合ト
云フヤウナコトハ助成金ヲ豫算ニ計上シマ
シテ所有者ノ自發的意思ニ依ツテ之ヲ行ハ
シムル方針デアリマス

○三善委員長 長野君ニ此ノ際申上ゲテ置
キマス、長野君ノ御質疑ハ先般此ノ委員會
ニ於テナサツタノト大同小異ノヤウデアリ
マスガ、大臣ノ言明ヲ取ラレル爲ニ御質問
ヲナサルト云フコトデアツタナラバ、成ベ
ク簡明ニ全部一度ニ纏メテ質問ヲ願ツテ置
キマス

○長野(長)委員 結構デアリマスカラサウ
致シマス、次ニ出征遺族其ノ他事故ノ爲
ニ勞力ノ不足セル農家ニハ無報酬ガ隣保相
助ノ美風ヲ發揮シ來ツテ居リマス、然ルニ
本規定ニ付テハ之ヲ認メテ規定ガナイノデ
アリマス、總務局長ノ答辯デハソレハ一般
ニ左様ニ農民意識トシテ考ヘテ居ルカラ差
支ヘハナイト云フヤウナ意味ノ御答辯ガア
リマシタケレドモ、是ハ事實上餘程重要ナ
コトト思フノデアリマス、ソレデ物ヲ超越

シタ道德、即チ農民道德ノ嚴存セル農村ニ
凡ユル場合勞賃計算ヲスルヤウニ規定セラ
レタ所ハ甚ダ手拔カリデハナイカト思ヒマ
ス、此ノ際明確ニ無報酬ノ隣保相助ヲナス
ベキ場合ヲ明示セラルコト、其ノ他通牒
ニ依ツテ完壁ヲ期セラレル必要ガアルト思
フノデアリマス、此ノ點ニ對スル農相ノ御
考ヘヲ伺ヒタイ

第四番ニ小經營デアツテ勞力ニ餘剩ノア
ル爲ニ、其ノ餘剩勞力ヲ大經營ノ土地ニ共
同作業シ勞賃ヲ得ルコトナレバ、或ハ自
己耕作反別ヲ減ジ、大面積耕作者ノ勞力不
足ノ者ノ土地ニ依存シテ勞賃トシテ所得ヲ
收得セシムルコトトナル嫌ヒガナイデハナ
イ、即チ土地ノ所有權ニ關スル思想ノ動
搖、自己經營トノ遊離ノ虞ガアリマス、農
相ハ此ノ點ニ關シ明瞭ニ御考ヘヲ表示セラ
レルコトガ必要ト思フノデアリマス、之ヲ
御伺ヒシタイノデアリマス第五、勞力調整

ト云フコトハ戰時下極メテ肝要ナコトデア
リマスガ、ソレハ飽クマデ隣保相助ノ精神
デヤリ、物以上ニ尊イ我が國民道德ノ現
ハレデアル農民精神ヲ尊重シ、隣保相助ノ
域ヲ超エルコトナク、苟且ニモ共同經營ト
誤認セラルコトノナイヤウ再通牒其ノ他
適當ナル方法ヲ講ジ、本施設ニ完壁ヲ期セ
ラレタイト思フノデアリマスガ、農相ノ御
意思ハ如何デアリマセウカ、以上ハ前ニ質
問シタト云フ委員長ノ御話デアリマスケレ
ドモ、是ハ特ニ我が國農村ニ重要ナコトデ
アリマスカラ、茲ニ農相ノ御言明ヲ御願ス
ル次第デアリマス、此ノ點ハ委員長ノ御考
ヘト違ヒマスカラ特ニ附加ヘテ置キマス

○井野國務大臣 只今長野委員ガ御質問ニ
ナリマシタ爾餘ノ三點ニ付キマシテ御回答
申上ゲマス、第三ノ問題ニ付キマシテハ規
定例デ共同作業ノ勞賃清算ハ農會長ノ示ス
所ニ依ル建前ヲ執ツテ居リマスノハ、應召
其ノ他事故アル農家ニ對スル無報酬勤勞奉
仕ヲナス美風ハ共同作業ニ於テモ大イニ推
奨スベキモノデアリマスガ、斯カル場合ヲ
除キマス場合ノ外ハ一般勞力不足對策トシ
テノ共同作業ニ付キマシテ、勞銀ヲ拂フ場
合ハ、農會長ガ適當ト認メル所ヲ示スト云
フコトニ致シテ居ルノデアリマス

又第四ノ點ニ付キマシテハ共同作業ノ實
施ニ依リマシテ賃銀收入ガアリマス爲ニ、耕
作農家ガ自己經營カラ遊離スルヤウナ虞ハ
ナイト思フノデアリマス、農會ノ統制ハ飽
クマデ自己經營ヲ根幹トシ、其ノ足りマセ
ヌ所ヲ共同作業ニ依ツテ補給セントスルノ
ガ根本的ナ考ヘ方デアアルノデアリマス、若
シ共同作業實施ノ爲ニ、耕作農家ガ自己經
營カラ遊離スルヤウナ傾向ガ現實ニアリト
致シマスレバ、是ハ是正致サナケレバナラ
スト存ズルノデアリマス、最後ニ之ヲ要シ
マスルニ耕作農家ハ自己經營ノ耕作ヲ、自
分ノ力デ全ウスルコトガ飽クマデモ根幹デ
アツテ、勞力不足ノ補給調整ノ對策トシマ
シテ、共同作業ヲ行フコトヲ趣旨トシマス
今御述ベノ通り、隣保相助ノ大精神ヲ基調
トシナケレバナラスコトハ申スマデモナイ
ノデアリマス、隨テ斯カル根本趣旨ニ付キ
マシテ徹底ヲ缺クコトアリト致シマスレバ
適當ナル方法ヲ講ジタイト存ジマス

○長野(長)委員 私ノ質問ハ終リマシタ
○三善委員長 此ノ際委員長カラ申上ゲタ
イト思ヒマスコトハ、先般ノ委員會ニ於キ
マシテ臘虎、臘納獸ノ法案中罰則ノ問題ニ

付キマシテ一年以下ノ懲役又ハ五千圓以下
ノ罰金ニ處スルト云フコトハ他ノ水産又ハ
産業規定ニアル所ノ罰則ト比較致シマシテ
餘リ重イデハナイカ、特ニ斯ウ云フヤウナ
重イ罰則ヲ規定スル理由ガ明瞭アルナラ
バ、其ノ點ヲ能ク御調査下サツテ、委員會
其ノコトヲ言明下サルヤウニト云フコトヲ
申上ゲテ置キマシタノデ、此ノ際農林當局
ノ方カラ此ノ點ニ付テ茲ニ御言明ヲ得タイ
ト思ヒマス

○井野國務大臣 私カラ概略的ニ御説明申
シマシテ、詳細ハ或ハ必要ガアレバ水產局
長カラ御答辯申上ゲマス、此ノ罰則規定ノ
ハ四箇國條約ガ出來マス前カラノ取締規定
ニアルノデアリマシテ、先般御述ベノヤウ
ニ國際條約ニ基キ禁止的國內法デアルカラ、
法域ガ違フカラ國際法ヲ前提トシテノ罰則
ハ二年ノ體刑ガアツテモ宜イガ、今日ハ國
際法ノ前提ガナクナツタノデアルカラ、ソ
レハ重イト云フ御議論ガアリマシタガ、其
ノ點ハ國際法ノアリマス前カラソレハアリ
マスノデ、サウ云ツタ趣旨ノ立法上ノ差違
ハナイノデアリマス、又臘納獸ナリ臘虎ノ
獵獲ト云フモノハ、今後政府ノ統制ノ下ニ
獲ラスノデアリマスガ、併シ場所ガ「ベ
リシグ」海峽ノ方面デアリ、而モ「プリビ
ロ」其ノ他「コマンドルスキー」ノ島々マデ
色々關係ガアルノデアリマスカラ、是ハ色
色國際上今後モ相當考ヘテ行カナケレバナ
ラス問題モ澤山アラウト思フ、隨テ是等ノ
獵獲ニ對スル監督ヲ十分ニ政府トシテ致シ
テ參リマス爲ニハ、ヤハリ他ノ單ナル國內
ヲ基準トシテノ漁業罰則トハ同ジニ考ヘラ
レナイ事情モアリマスノデ此ノ點ハ特ニ重
ク致シテ參ラナケレバナラス、斯ウ考ヘテ

居ルノデアリマス

○三善委員長 別ニ此ノ罰則等ニ付キマシテノ先般ノ質問ノ経緯モアリマスガ、此ノ際之ニ對スル御質疑ガアリマスナラバ許シマス

○田代委員 此ノ間御話シテ置イタノデスガ、今マデノ罰金、懲役ト云フヤウナ實例ノ御示シハ如何デセウカ

○平岡政府委員 先般田代サンノ御要求ノモノ、調ベテ見マシタ所ガ、判決ノ事例ハ最近マデノモノガ罰金デ三十圓ト云フノガアリマス、千圓ト云フモノモゴザイマス、懲役ノ方ハ二箇月ト云フモノガ二件前例トシテゴザイマス、罰金トシテハ最高千圓カラ安イノハ百圓トカ三十圓ト云フノモゴザイマス

○井野國務大臣 今水産局長カラ御答ヘシタノハ全部ノ罰調ベタノデアリマセヌガ、最近ノ色々ナモノヲ調ベテ見マスト體刑ガ二件、罰金ハ千圓ト云フモノガ二件ゴザイマス

○田代委員 分リマシタ

○三善委員長 次ハ津崎尙武君ニ許シマス

○津崎委員 農林省ノ委員會デ色々問題ガ今マデ質疑應答セラレタノデアリマスガ、私ハ此ノ機會ニ昨年ノ議會デ最モ問題ニナリマシタ木材統制ニ關スル法規ノ運用ニ付キマシテ、一、二農林當局ノ御意見ヲ質シテ明確ニシテ置キタイト思ヒマシテ發言ヲ求メタ次第デアリマス、時間モ切迫シテ居リマスカラ極メテ簡單ニ御尋ネ致シマスガ、唯其ノ前ニ御諒解ヲ願ツテ置キタイコトハ、私ガ此處デ斯ウ云フ質問ヲ致シマスコトハ、此ノ頃出來テ居ル所謂國策會社ナルモノニ付テ色々問題ガ多い、就中原始産業タル農

林省所管ノ國策會社ニ付テハ、是ハ事實面倒ダカラサウ云フコトニナラウト思フノデスガ、此ノコトニ付テハ恐ラク本委員會ナドデ度々論議サレタコトト思ヒマスカラ今更之ヲ言フノデアリマセヌガ、面倒ナコトヲナサルノデ最初カラ御計畫ノ通り行カスコトハ吾々モ認メマス、ソコデ實際ニ即シテソレガ國家國民ノ爲ニ良ク行ツテ居ルカ居ナイカ、斯ウ云フコトヲ究メテ、行ツテ居ナイコトハ改メ、過去ニ斯ウ決メタカラ此ノ通り行クノダ、斯ウ言ツタカラ斯ウシナケレバナラスコト云フコトデナシニ、何處マデモ國家ノ必要ニ應ジテ善處スベキモノダト云フ心持ヲ持ツテ居ルノデアリマス、此ノ國家非常ノ時ニ當ツテ當局ガ色々考ヘラレテ、斯ウシタラバ國ノ必要ニ應ズルノデハナカラウカト御考ヘニナツテ行ハレタコトモ、事實具體的ニソレニ當嵌メテ見ルト違ツタコトモ起ルコトハ無理モナイカラ、其ノ時ハ虛心坦懷ニ政府モ能ク事情ヲ見極メラレテ、適當ニ御改メ願ヒタイ、斯ウ云フ心持ナノデアリマス、隨テ此ノ木材問題ト云フモノハ前ノ議會ニ於テ非常ニ論議サレタ問題デアリ、一年經ツテ其ノ施行ニ當リマシテ色々問題ヲ起シテ居ル、ソコデ其ノ結果ト致シマシテ業界ニ混亂モ起ツテ居ルシ、或ハ生産ノ減退モ來シテ居ル、斯ウ云フヤウナコトデアリトシマスレバ此ノ場合ニ之ヲ善處シテ載ク、吾々ハ法律ヲ認メタノデアリマスカラ其ノ法律ヲ認メルニ當ツテ議員側カラ希望ヲ致シ註文ヲ致シタコトモアリマスガ、ソレガ悉ク善イトカ惡イトカ云フ問題デハナイ、其ノ註文シタコトト政府ノ答ヘラレタコトト色々綜合シテ、之ヲ現狀ニ當嵌メテ見ルト、ドウモソコニ缺陷ガア

ルヤウニ見エルトコトガ澤山アルト云フナラバ此ノ場合御互ヒ相談シテ、最モ適當スル方法ニ改メテ行ク、國家ノ爲ニ虛心坦懷ニヤツテ行クト云フ氣持デ吾々議員モ居ルノデスカラ、ソコハ十分御含ミ願ツテ、私ノ御尋ネスルコトハ大體二點デアリマスガ、私ハ專門家デモ何デモナイ、ナイカラ尙ホ實際ニ當嵌メテ疑義ノ存スル所ハ同僚カラ之ヲ御尋ネスル、斯ウ云フコトニ御諒承願ヒタイノデアリマス

ソコデ第一點トシテ此ノ場合ハツキリ御言明ヲ願ツテ置キタイコトハ木材統制法第二條ノ立木ノ所有者ニ對スル其ノ立木賣渡シ、之ニ對シテ賣渡シヲ命ゼラレタ時ニ不服ナル時ノ救済ノ問題、是ハ今ノ大臣ガ當時次官トシテ、兎ニ角此ノ處分ニ依ツテ不服アル時ハ訴願スルコトガ出來ルヤウニシタイト、斯ウ云フ御答辯デ其ノ時ハ納マツタ、所ガ御承知ノ通り此ノ施行ニ當ツテソレガ脱ケタト云フノデ、山林業者ニ於テ非常ニ心配シテ居ルノデアリマス、ヤハリ私有財産ノ處分ニ付テハソコニ救済ノ途ヲ開ク、傳家ノ寶刀ハ拔カザルモ是ハ備ヘナケレバナラス、法治國トシテハ其ノ備ヘガナケレバイカスト思フノデアリマスガ、是ハモウ政府ノ方デモ其ノ事ハ御決マリニナツテ居ルノデハナイカト思フノデアリマスケレドモ、此ノ場合之ニ對スル御方針ヲハツキリ御伺ヒシタイノガ第一點デアリマス

○井野國務大臣 只今津崎委員カラ御述ベニナリマシタ大前提ノ御議論ニ對シマシテハ私共モ全く同感ヲ持ツテ居ルノデアリマシテ、統制經濟運用ノ上ニ於テ十分注意ヲシテ行カケレバナラス色々點ガアラウト考ヘテ居リマス、今具體的ノ御尋ネト

シテ木材統制法第二條ニ基ク救済規定ノ問題デアリマスガ、是ハ私ガ次官時代ニ訴願ノ途ヲ開クト議會デ御答辯申シナガラ、實際ノ勅令制度ニ當ツテ訴願ノ途ヲ開カナカツタ、一種ノ食言ヲ致シテ居ルヤウニモ當ルノデアリマスガ、是ハ私自分ノ氣持トシテ食言ヲ致シタノデハナクシテ、寧ろ委員會ト云フモノヲ業者ノ間ニ設ケテ、其ノ委員會ノ議ヲ經タモノヲ農林大臣ガ認メルト云フコトニ致シマスレバ、訴願ヨリモツト親切デアルト云フ氣持デ、實ハ此ノ規定ヲ置イタノデアリマス、併シ其ノ後色々御話合モゴザイマスルシ、自分ガ言ツタコトヲ形ノ上ニ於テモ現ハサスト云フコトハ政治上面白クナイト考ヘマシタノデ、今回法制局トモ色々相談シマシテ、結局訴願ト云フ形ニモ致シ、且又其ノ訴願ヲ裁決致シマスル場合ニモ、木材統制委員會ノ議ヲ經テ、主務大臣トシテハ其ノ裁決ヲ致スト云フコトニ致シタイト考ヘマシテ、既ニ此ノコトニ付キマシテハ閣議ノ決定ヲ經テ居リマスカラ、不日公布サレルト存ジテ居リマスルノデ、大體私ガ言明致シマシタ通り實行致ス積リデアリマス

○津崎委員 第二條ノ救済ノ問題ニ付キマシテ、斯クノ如キ御言明ヲ得マシタコトヲ満足スルノデアリマス、之ニ依ツテ山林所有者モ兎ニ角安心シテ仕事ガ出來得ルト思フノデアリマス

次ニ第六條ノ關係デアリマスガ、木材業ヲ許可制トスル、サウスルコトハ濫立ヲ防グ爲メダト説明セラレマシタノデ、ヤハリ木材業者ハ其ノ業ヲ繼續シ得ルカノ如ク稱シテ居ツタノニ、此ノ統制法ノ運用ノ上ニ於テ、昨年ノ四月十六日發布セラレタサウ

デアリマスガ、木材統制要綱ノ中ニ、中核
體ハ、生産配給ノ實體トシテ、企業ノ權力
ヲ以テ統合シテ、個人企業ヲ認メルト云フ
コトハ、統制經濟ノ上ニ支障ヲ來スカラ、
本年ノ五月三十一日限り之ヲ廢メサシテ、
サウシテ農林當局ノ指導ニ依ツテ設立セラ
レタ株式會社デナケレバ營業ヲ許可セナイ
ト云フコトガ發表セラレタノデアリマス、
ソコデ其ノ爲ニ營業者ト云フモノハ、個人企
業ヲ認メラレナイコトニナリマシタ爲ニ、
非常ニ業界ニ混亂ヲ來シマシテ、前途ヲ悲
觀シテ仕事ノ手仕舞ヲシタリ、或ハ仕込金ヲ
回收シタリシテ、サウシテ其ノ爲ニ逆效果
ガ起ツテ居ル、生産ガ減退シタ、能率ハ低
下シタ、業務ハ混亂シタト云フコトガ現在
ノ事情デアルカノ如ク私共ハ聞キ及ンデ居
ルノデアリマス、斯クノ如クシテ行キマスト、
折角統制法ヲ御實施ニナツテ、此ノ重大ナ
決戰態勢下ニ於テ、木材ノ生産ガ減退シ、業
界ガ混亂スルト云フヤウナコトハ、是ハ看過
スルコトノ出來ナイコトニナラウト思ヒマ
ス、ソコデ之ヲ私カラハツキリ申シテ置キ
マスガ、最初ニ申上ゲマシタ通り、私共ノ
氣持ハ、ドウシテモ、此ノ場合ニハ、生産ヲ
増加セネバイカス、ドウシテモ此ノ時代ノ
要求ニ應ジテ行カナケレバナラス、斯ウ云
フ見地カラ致シマシテ、政府デ御考ヘニナ
ツテ、斯ウシタラト思ツテオヤリニナツテ
モ、其ノコトガ實際ニ於テ逆效果ヲ來シテ
居ルト云フコトデアルナラバ、ソコヲ一ツ
御考ヘヲ願ヒ、御改メヲ願ヒタイコトヲ希
望スルノデアリマス、ソコデ其ノ爲ニハ、
ヤハリ個人ノ企業ノ創意ト云フコトヲ相當
ニ認メスト云フト、徒ラニ統制ト云フコト
ノミニ執着致シマシタ結果、來ス所ハ何カ

ト云ヘバ、生産ノ「コスト」ガ高クナルトカ、或
ハ其ノ他色々ナ、御承知ノヤウナ事情ガ起
ルノデアリマス、此ノ及ボシマス所ハ、結
局立木ノ値段ヲ下ゲテシマフ、森林ガ荒廢
スルト云フヤウナ、國家ノ使命ニ關スル重
大ナ問題ニ影響シテ居ルカノ如ク思フノデ
アリマス、ソコデ希望致シマスコトハ、昨
年ノ木材統制法審議ノ答辯ノ精神ニ依リマ
シテ、個人企業ノ創意ヲ認メテ下部組織ト
云フモノヲ組合デヤラセル、生産確保ノ實
體トシテ生産擴充ノ基礎ヲラシメルト云フ
コトヲ御考ヘヲ願フコトガ今日必要ナコト
デハナカラウカ、斯ウ思フノデアリマス、
言換ヘマシレバ、今マデノ御方針ガ、從來ノ
製材業、木材業ト云フモノハ皆廢メロ、廢
メテソレハ皆會社ニセイ、斯ウ云フヤウナ
御方針デアルカノ如ク承ツテ居ルノデアリ
マスガ、ソレデハ先刻申シマシタヤウニ、
非常ニ業界ガ混亂シ、生産ガ低下シテ、聞
ク所ニ依レバ今年ノ狀態ナドハ、或ハ從來
ニ比ベテ半減スルノデハナカラウカト云フ
ヤウナ羽目ニナツテ居ルカノ如ク思フノデ
アリマス、是デハ非常ニ此ノ大事ナ時ニ憂慮
スベキコトデアリマスカラ、之ヲ寧ロ個人
ノ創意ヲ下ノ方デ活カシテ、ソレヲ活用シ
テ生産ヲ擴充スルト云フコトニ改メテ戴キ
タイ、斯ウ云フコトヲ希望スルノデアリマ
ス、サウシテ斯クノ如クスルコトニ依ツテ、
恐ラク生産費モ減ジテ來ルシ、或ハ其ノ爲
ニ結局スル所、森林資源ノ培養モ、國土ノ
保安ノ基礎モ得ラレト思フノデアリマス
ガ、今日ノ如ク業界混亂シ、生産ガ低下シ
テ行クナラバ、此ノ決戰態勢下ニ於テ由々
シキコトガ起ルヤウニ思ハレルノデアリマ
ス、ソレニ付テノ政府ノ御考ヘヲ承リ、吾

吾ノ希望スル所ヲ如何ニ御取扱ニナルカト
云フコトヲ此ノ場合ニ承ツテ置キタイノデ
アリマス
○井野國務大臣 昨年ノ議會ニ木材統制法
ヲ提案致シマシタ際ニ、私カラモ色々下部
組織ノ問題ニ付テハ御答ヘヲ致シタノデア
リマス、其ノ後實際ノ運営ヲ致スニ當リマ
シテ、只今木材ノ生産ガ減ツテ居ルト云フ
話デアリマシタガ、是ハ餘リ減ツテ居リマ
セヌ、寧ロ今日デハ殖エテ居リマスガ、併
シ之ヲ運営シテ行キマス色々ノ統制法ニ基
ク組織ノ問題ニ付テハ、地方的ノ事情モ色
色デアリニナラウト思ヒ、吾々モサウ云フ
點ニ付テ留意シテ參ツタノデアリマスガ、
何分ニモ軍需生産力擴充資材ノ需要ガ極メ
テ緊切デアリ、而モ之ニ伴フ配給ヲ適正化
致シマスニハ、當初私ガ申シテ居リマシタ
トハ多少方針ノ上ニ於テモ變更ノアリマシ
タコトハ、是ハ御諒承ヲ願ヒタイト思フノ
デアリマス、併シ今御述べニナリマシタ下
部組織——中核體以下ノ下部組織ニ付キ
マシテハ、大體斯ウ云フ氣持デ今後進ンデ
參リタイト思ツテ居リマス、即チ中核體ニ
依リマス製材業ノ直接經營ハ、中核體結成
ノ當初ニアリマシテハ、直チニ全部ノ工場
ニ付キマシテ實際上直接經營ヲ行フコト
困難ナ場合モアリマスシ、又其ノ結果、
サナキダニ現下勞力不足、資材不足、運搬
力不足等ノ事情ノ下ニ木材生産減退ヲ憂慮
サレル折柄デアリマスカラ、生産減退乃至
能率低下ヲ惹起スルノ虞ナキニアラザルヲ
以テマシテ、斯カル特殊事情アル場合ニ於
キマシテハ、當分ノ内經營工場ノ一部ニ付
キマシテ各地方ノ事情ニ即應シ、一時從來
ノ關係業者又ハ其ノ團體ヲシマシテ、中核

體ノ許可名義ノ下ニ、其ノ製材工場ノ管理及
ビ之ニ依リマスル製材加工作業ノ下請ヲ行
ハシムルコトヲ認メマシテ、以テ既存製材
業ヲ中核體ノ經營ニ切替ヘマスル經過の事
態ニ於キマスル業務ノ混亂、生産ノ減少、
能率ノ低下等ノ弊ヲ防止スルニ必要ナル萬
全ノ措置ヲ講ジタイト存ズルノデアリマス
○津崎委員 其ノ點ニ付キマシテ中核體ノ
下部組織トシテ組合ヲ認メテ、在來ノ業者
ヲ活カシテ行カウ、斯ウ云フ御方針ニ御改
メヲ願フコト云フコトニ承致シタノデアリ
マスガ、ソレニ付キマシテハ唯此ノ場合私
細カイコトヲ餘リ言ヒタクナイ、要スルニ
オ互ヒニ餘リ彼此レ言ツテ居ルト事面倒ニ
ナリマスカラ言ヒマセヌガ、之ヲ何月幾日
マデニドウスルトカ、何ハドウスルト云フ
コトヲ、御役所ノ方デハ物事ヲハツキリ決
メナケレバナラスガ、實際ノ仕事ニ當ツテ
見テ、決メルコトガ却テ拙イコトモアルノ
デアリマス、ソコニ一時的トカ當分トカ
云フヤウナコトヲ仰シヤルガ、國家百年ノ
計カラ言ヘバ、一年モ一時、十年モ一時ト
云フコトデアリマスカラ、要スルニ目標ヲ
何處ニ置クカト云ヘバ、今御話ノヤウニ軍
需其ノ他ノ需要ガ多イ此ノ時ニ、ドウスレ
バ出來ルダケ生産ヲ増加スルコトガ出來ル
カ、又ハ根本的ニドウスレバ山森ノ荒廢ヲ
防ギ、増殖ヲ圖ツテ行クコトガ出來ルカ、
斯ウ云フ見地カラ此ノ問題ハ實際的ニ御取
扱ヲ願フコト云フコトニ致シタイト思フノデ
アリマス、就キマシテハ今御述べニナツタ
コトニ依リマシテ、根本ハサウ願フト致シ
マシテモ、尙ホ實際ニ當ツテ其ノ下部組織
ヲ組合ニシテ仕事ヲシテ行ク、其ノ性格ヲ
ドウ云フ風ニスルノデアルカ、方法ヲドウ

云フ風ニスルノデアルカト云フヤウナコトハ、此ノ場合ニハツキリシテ置キマセスト、又再ビ混亂ヲ來ス虞ガアルカト思フノデアリマスカラ、其ノ點ナドニ付キマシテ他ノ委員カラ之ヲ補足シマシテ、茲ニ此ノ機會ニ明瞭ニシテ戴キタイノデアリマスカラ、御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

○三善委員長 松尾君

○松尾(四)委員 私ハ今津崎君ノ質問ニナリ、大臣ヨリ御答ヘニナリマシタ點ニ關聯シテ、モウ少シ詳細ニ伺ツテ見タイノデスガ、其ノ前ニ一言申上ゲテ置キタイノハ、今回ノ木材統制法實施ニ當ツテハ、是非ハ非常ニ複雑ナ問題デアリマシテ、色々ナコトヲ世間デ心配致シテ居ルノデアリマス、昨年ノ木材統制法ノ委員會ニ於テ、私ハ此ノ第六條デ企業形態ヲ變更スル場合ハ非常ナ面倒ガ起リマスゾ、仍テハドウナサイマスカト云フコトヲ御尋ネシタ所ガ、企業者ニハ餘リ觸レナイデヤツテ行キタイト思フ、斯ウ云フコトデアリマシテ、第六條ノ運用ニ當ツテハ現在ノ企業者ノ許可ヲ取消ストカ、サウ云フヤウナコトハナサラズニヤツテ行クヤウナ御方針ニ大體承ツテ居ツタモノデスカラ、委員會ハ此ノ點ニ付テハ極メテ圓滑ニ進行ヲ致シタノデアリマス、ソレハ今ノ大臣ガ次官ノ時デアリマシテ、御承知ト存ジマス、併シナガラ其ノ後非常ニ複雑ナ關係ガアリマスガ、是ハ情勢ノ變化上セナ關係デヤラナケレバナラスト云フコトデ、斯ウ云フコトヲヤルノダト云フコトデアリマシタ、ソレデ私共ハヤハリ國策ノ遂行ニ協力シテ行ク立場デアリマス、實ハ私ノ地方ハ造林業ノ盛ンナ所デアリマシテ、非常ニ關係ガ多イノデアリマス、先

般山林局長ガワザ／＼御觀察ニオイデニナリマシタ時ニモ、林業關係者ガ集マツテ居タノデ、席上ニ於テ山林家モ、材木業者モ、林業家モ、此ノ國家有事ノ際オ役ニ立ツ時ガ來タノダカラ、眞ニオ役ニ立ツヤウニナラナケレバナラスト云フコトデ私説得シテ、積極的ニ協力スルヤウニ致シタ、併シナガラソレハ協力致シタイト思フノデアリマスカ、ドウモ山林局ノ方ノ御命令ト云ヒマスカ、御指揮ガ一樣ニ出ナイヤウナ場合ガ澤山出來テ居ル、現ニ縣ニ依リマシテハ縣單位ノ木材會社ヲ拵ヘマシタ所モアリマス、又地方一地區ニ於テ流域毎ニ木材會社ヲ拵ヘテ居ラレル所モアル、而シテソレフ何ト云ツテ居ルカト云フト、ソレニ中核體ト云フ名前ヲ付ケテ居リマスガ、此ノ中核體ト云フ文字ハ、昨年ノ法律審議ノ時法令等ヲ調べテ見タノデスガ、サウ云フ文字ハ見マセシデシタ、又其ノ後ノ勅令ニモアリマセス、縣木材會社ト云フモノモナイ、地方木材會社ト云フモノダケハアリマス、然ルニ現ニ先程御話ノ第二條ト云フモノヲ適用致シテ參リマスニモ、第二條ニハ行政官廳必要アル時ハ其ノ立本ノ價格ヲ指定シ地方木材會社ニ賣渡スコトヲ命ズルコトヲ得ルト書イテアツテ、地方木材會社ト限定シテ居ル、然ルニ地方木材會社ヲ拵ヘナイデ、其ノ下ノ組織ノ細胞ナリ中核體ト云フモノヲ拵ヘテ行カウ、サウスルトドウモ中核體ト云フモノハ法的根據ガナケレバナライノデス、性格ガ決マツテ居ラナイ、決マツテ居ルノカモ知レンガ、地方木材會社ト云フ風ニ法令ノ上ニ書キ現ハシテナイカラ一般ハ判ラス、ケレドモソレヲヤツテ行カウトナサル、——私ハ此處デ攻撃スルノデアリセマスガ、ヤツテ行カ

ウトナサルニハ、ヤハリ法令ノ整理ヲシテ行カナケレバナラス、ドウモ地方デ見テ居リマスト非常ニ混亂シテ居ル、其ノ點ヲ今日攻撃スル積リデモ、揚足ヲ取ル積リデモアリマセスガ、サウ云フヤウニ混亂シテ居リマスカラ、業者モ迷ヒマスルシ、又關係者ガ多イノデ心配ヲ致シテ居リマス、ソコデ先般來非常ニ議論ガアリマシテ、同志ノ議員ガ寄ツテ大臣ニモ御會ヒヲ致シ、局長ニモ御願ヒヲ致シテ、色々話合ヒマシタ結果、段々御意思ノアル所ハ分リマシタ、其ノ結果今津崎サンカラ御尋ネヲ致シマシテ、御回答ヲ得マシタカラ、其ノ點ニ觸レテ御伺ヒ致シタイノデスガ、ソレハ只今從來ノ關係業者又ハ其ノ團體ヲシテ中核體ノ許可名義ノ下ニ、製材工場ノ管理及ビ之ニ依ル製材加工作業ノ下請ヲ行ハシムルト書イテアル、下請ト云フ制度ニ依ツテ現在ノ企業者ヲ活カシテ行カウ、斯ウ云フ御考ヘ方デアリマスカラ、是非ハ非常ニ結構ダト思ヒマス、ソコデハドウモ現狀カラ考ヘテ見マスルト、地方ニ木材會社ガ出來マシタカラ、其ノ木材會社ノ直營ニ屬スル分ハ、現ニ直營デ行ハレテ居ルト思ヒマスガ、此ノ直營ニ入ツテ居ラナイ所ノ事業者ハ、又別個ニ下請トシテ事業ヲ行ツテ行ケル、斯ウ云フヤウナ途ヲ開ケテヤル、斯ウ云フ御考ヘノヤウニ思ヒマス、デアリマスカラ詰リ木材會社ニ吸收サレタ所ノ直營ノ下ニアル製材工場ト、吸收サレテ居ラヌ外ニアリマス所ノ下請ノ製材工場ト、其ノ二ツガ存在シテ居ルヤウニ思ヒマスガ、サウ云フ風ニ解釋シテ宜シウゴザイマスカ、伺ツテ置キタイト思ヒマス

○井出政府委員 只今ノ御尋ネノ點ニ付キマシテ私カラ、先程大臣ノ申サレマシタ點ニモ少シ補足ヲ致シテ御答ヘシタイト思ヒマス、此ノ木材統制法ガ實施致サレマシテ、地方木材會社ヲ此ノ法律ニ依ツテ結成サセテ參ルト云フコトヲ終局ノ目的ニ致シテ居ル次第デアリマス、之ヲ運用致シマスルニ伴ヒマシテ、必然的ニ現在ノ木材業者、製材業者ヲ如何ニシテ之ヲ整理統合シテ參ルカト云フ爲ニ、御話ノ此ノ法律ノ第六條ノ許可制度ヲ運用致シマシテ、之ニ結付ケテ行クト云フ法則ヲ、此ノ法律實施以來一定ノ方針ヲ立テマシテ、執ツテ參ツテ居ル次第デアリマス、ソレノ大體只今マデ執リ、又今後之ニ依ツテ運用致シテ參ルト云フコトニ存ジテ居リマスル方針ノ主要部分ヲ此ノ機會ニ申上ゲテ、更ニ御答ヘ申上ゲタイト思ツテ居ルノデアリマス

第一點ハ木材統制法ニ基ク地方木材會社ヲマダ作ツテナイデハナイカト云フ點ニ付キマシテデアリマスルガ、此ノ點ハ此ノ法律ヲ制定致サレマシタ當初カラノ精神ニ鑑ミマシテ、之ヲ作リマス以上ハ、一切ノ木材ノ直接ノ生産及ビ配給ノ實體ニ之ヲ致スヤウニ作ツテ參ル必要ガアラウ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、隨ヒマシテ此ノ趣旨ニ副ヒマシテ此ノ會社ヲ設立シ、運用シテ參ル爲ニ、先ヅ必要ナ手段トシマシテ、ソレノ地方木材會社ニナリマスル關係ノ地域内ニ於キマスル現在アリマスル木材業及ビ製材業ヲ、極ク特殊ナ業態ノモノヲ除キマシテハ、之ヲ各府縣毎ニ整理統合致シマシテ、地方木材會社ヲ設立ノ前提デアリ、又ソレノ中核體ヲナシマスル木材ノ生産實體ノ企業組織ヲ先ニ作ツテ參ルト云ウコトニ進ンデ居ル次第デアリマス、而シテ

此ノ地方木材會社ノ府縣單位ノ中核體會社ハ、只今御指摘モアリマシタヤウニ、地方木材會社ガ出來マスルマデノ間ハ、當然地方木材會社ト大體其ノ性質モ同ジモノニ致シマシテ、當該地方ニ地方木材會社ガ正式ニ出來マスルマデノ間、成ベク之ニ代リマスル機關トシテ之ヲ育成シ指導シテ參ルト云フヤウナ考ヘ方ヲ以テ進シ居ル次第デアリマス

ソレカラ尙ホ只今申上ゲマシタ地方木材會社ノ中核體會社ト申シマスルカニ當ル此ノ中核體ハ、原則ト致シマシテ、是非府縣一圓ノ地域ヲ單位ト致シマシテ之ヲ結成スルコトヲ最モ望マシイコトト考ヘマシテ、原則トシテ之ニ進マシテ居ル次第デアリマス、唯何モ地方ニ依リマシテハ、ドウシテモ府縣單位トハ出來ナイト云フヤウナ已ムヲ得ナイ事情ガアリマスル場合ニ於テハ、其ノ木材ノ生産、配給上、纏マリ得ル先ヅ一ツノ單位ト考ヘラレルヤウナ流域、或ハ之ニ準ズルヤウナ區域別ニ更ニ府縣内ヲ分テ中核體ヲ作ルト云フコトモ、例外的ニハ認メテ參ツテ居ル次第デアリマス

ソレカラ此ノ中核體ノ地域内ニアリマスル現在ノ木材業、製材業ノ處置デゴザイマスルガ、之ニ付キマシテハ、此ノ特殊ナ地域、即チ公定價格上木材ニ付キマシテ、小賣ノ「マージン」ヲ認メラレル地域、尤モ東京、大阪、名古屋ノ三都市ハ除キマスルガ、ソレ以外ノ此ノ中等程度ノ木材ノ消費地域ニ當ル地方ニアリマスル小賣業者デアリマスルカ、或ハ東京、大阪、名古屋ニ存在シマス海外カラ原材料ヲ仰イデ仕事ヲヤツテ居リマスル製材業デアルトカ、或ハ山ニ於キマシテ森林家カラ立木ヲ買取りマシテ、之ヲ伐

採シマシテ丸太デ之ヲ賣出スト云フヤウナ、所謂素材生産業者ト云フヤウナ方面ハ、是其ノ場所々々ニ依ツテ、或ハ小賣商業組合、或ハ工業組合、或ハ其ノ他最寄リノ適當ナ組合ニ纏メテ、之ニ仕事ヲやらセルト云フヤウナ、斯様ナ特殊ナモノハ別ト致シマシテ、一般ニ所謂一般材ヲ取扱ヒマスル是等ノ業態ニ對シマシテハ、原則ト致シマシテ本年五月三十一日ヲ以テ其ノ許可ヲ打切りマシテ、爾後ハ此ノ中核體ニ對シテダケ木材統制法ニ依ル木材業或ハ製材業ノ許可ヲ與ヘテ行クト云フコトニ致シマシテ、中核體ノ區域内ニアリマスル現存ノ製材工場ヲ必要ナ整理ヲ加ヘマシテ存置スルコトニナリマシタ工場ニ依リマスル木材ノ直接生産ヲ、此ノ中核體ガ是等ノ製材業ヲ直チニ從來ノ業者カラ切替ヘテ仕事ヲ致サウト云フ此ノ時期ニ於キマシテハ、相當各種ノ茲ニ考ヘナケレバナナイ事情モ存スル次第デアリマス、殊ニ木材ノ生産減退或ハ能率ノ低下ト云フ風ナコトヲ相當防止モ致シテ參ル必要ノアリマスコト、又御話ノヤウナ個人ノ企業上ノ創意ヲ新シイヌウ云フ形態ノ下ニ於テ出來ルダケ活カシテ行クト云フ風ナ工夫ノ下ニ、或ル期間ヲ下請ノ作業、詰リ製材或ハ加工ノ作業ヲ下請ヲサセテ行クト云フ風ナ工場ヲ直營工場ノ他ニ之ヲ必要ナ場合ニ於テハ認メテ行クト云フコトヲ當初カラ考ヘテ、斯様ナ下ニ指導シテ居ル次第デアリマス、尙ホ此ノ中核體ニ依リマシテ、只今申シマシタヤウニ現在ノ木材業、製材業ヲ吸收致シマシタ後ニ生ジマスル轉廢業者ニ對シマシテハ、出來ルダケ此ノ中核體ヲ中心ト致シマシテ政府或ハ國民更生金庫ト云フ風ナ方面カラノ施設ノ利用ニ依

リマシテ、場合ニ依ツテハ必要ナル共助施設ヲヤリ、又廢止工場ニ付キマシテハ國民更生金庫ノ管理引受ト云フ風ナコトニ依リマシテ、出來ルダケ轉廢業ノ關係業者ノ蒙ルヤウナ犠牲ヲ少イヤウニ致シテ居ル次第デアリマス

大體斯様ナ方針ノ下ニ只今御話ノゴザイマシタ中核體ガ、此ノ際ニ於キマシテ或ル程度事情ニ依リマシテ、下部的ニ從來ノ關係者或ハ其ノ團體ニ其ノ工場ニ於ケル製材加工作業ノ下請ヲ行ハセルト云フ場合ニ於キマシテハ、此ノ點ニ付キマシテハ或ル程度ノ期間ハ直營ト兩建デ行カナケレバナナラ場合ヲ實際問題トシテハ豫想スル必要ガアラウ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○松尾(四)委員 餘程詳シイ御説明デアリマシタカラ、全部ニ付テ一々御尋ネスルノハ少シ煩雜ニナリマスガ、其ノ前ニ私ハ先程ノ大臣ノ御答辯ノ中ニ一點大臣ニ於テ御考ヘガ違ツテ居リハセヌカト思フコトガアリマシタカラ、其ノ點ヲ申上ゲテ置キタイノデスガ、ソレハ昨年ノ議會ニ第二條ノ立木賣渡命令ヲ發動セラレル時ニハ實際ニ規定ヲ置イテ貰ヒタイト云フコトデアリマシタガ、此ノ問題ハ先程解決シタト云フ御報告ガアリマシタカラ、敢テ追究ヲ致スノデハアリマセヌガ、其ノ時ニ價格ヲ決定スル場合ニハ審議會ニ掛ケテヤルノダカラ救済ノ途ヲ開ケナイデモ宜イト云フ心持デアアツタヤウニ思ヒマス、其ノ心持ハ此ノ前議會ノ委員會デヤハリ其ノ心持デ、審議會ニ掛ケテ救済ノ途ヲ講ズルト云フ事ニナツテ居ツタノデアリマシテ、サウ云フ心持デアアツタ、ソレガ今同訴願ノ途ヲ開ケルト云フ勅令ヲ制定ナツテ出テ來タノデスガ、審議會

ニ掛ケルト云フコトハ初メカラアツタコトデ前議會ニ審議會ニ掛ケルト云フ事ハナカツタト云フ考ヘハ一寸御考ヘガ違ツテ居ラレタト思ヒマスカラ、此ノ點ハ別ニ追究或ハ揚足取りト云フ考ヘハアリマセヌガ、一ツ御考ヘ置キヨ願ヒタイト思ヒマス

ソレカラ次ニ御尋ネシマスガ、複雑ニナツテハイケマセヌカラ、ハツキリ次ノ二點ニ付テ御尋ネ申上ゲマス、第一點ハ第六條ノ運用ニ當ツテ縣木材會社ト云フモノヲ地方ニ組織スルヤウニ御指示ニナツテ、農林省ガ斡旋シ又業者モ協力シテ拵ヘツツアル、其ノ點ニ付テハ別ニ御方針ニ異議ガアルノデハナイ、其ノ御方針デ御進ミニナツテ宜シイ、唯其ノ御方針デ御進ミニナリマスレバ、ハツキリ縣單位ナラバ縣單位デヤル、又區域毎ニ拵ヘルモノナラバ縣單位ニ統一スル、斯ウ云フ風ニキチントヤラナイト、縣ニ依ツテハ中核體ト云フ者ガ謂ハバ三ツ、四ツ、甚シキニ至ツテハ十數箇所モアルト云フモノニ付テ縣木材會社ト同様ニ認メルト云フコトデアレバ、將來法律上ノ疑義ガ貽ルノデ、此ノ點ヲハツキリシテ置キヤウニ御願ヒシタイ、殊ニ之ニ對スル法的性格ヲ定メテ置カナケレバナラス、ト云フノハ地方木材株式會社ト云フモノガキチント法律ニハ擧ゲラレテ居リマスガ、縣木材會社ト云フモノハアリマセヌ、又中核體ト云フコトハ勝手ナ名前デアツテ法律ニハナイ、デスカラ法律的ニハハツキリシタ名前ヲ附ケラレルヤウニシテ戴イタナラバ、皆ガ迷ハズニ行ケルト思ヒマス、ソレガ第一點デアリマス、第二點ハ最モ問題ニナリマス企業者ヲ殺サズニ行ク——殺サズニト云フ言葉ハ少イ惡イデ

スガ、企業ヲ認メテヤル、此ノ御方針ヲハツキリシテ戴キマシタガ、ソレニ付テ疑義ガ起リマス、第一ニ直營ノ中ニ入ツテ行ク工場ハ、名義カラ、實際ノ營業ハ全部直營ノ下請ヲ運營スルノデアリマスカラ、今日マデノ企業者ノ名義モ經營權モ全部ナクナル、是ハ統合シタノデアリマスカラ、ソレデ宜シイガ、下請トシテ殘ツテ居ルモノ、是等ノ營業ハ誰ガヤツテ行ク形ニナルノデスカ、此ノ許可名義ハ中核體トアリマスカ、是ハ縣木材會社デスカ、中核體ガ許可名義デアツテ、其ノ下デ企業ヲシテ行ク、斯ウ云フコトニナルノカ、ハツキリシニクイノデアリマス、ソレヲ御伺ヒ致シマス

○井出政府委員 第一點ノ地方木材會社ノ中核體ノ區域ノ點ニ付キマシテハ、私共モ大體松尾委員ト同感ニ考ヘテ居リマス、地方木材會社ガ出來マスル間ハ、其ノ府縣單位ニ於キマシテ其ノ區域内ニ於テ生産サレル一切ノ素材ヲ是ガ引取りマシテ、必要ナルモノハソレノ縣外或ハ縣内ノ需要者ヘ素材トシテ出ス、又ハ縣内ノ製材設備ヘ之ヲ掛ケテ製材シテ更ニ配給スルト云フコトヲ計畫的ニヤリマス爲ニハ、ドウシテモ一府縣單位ノモノニスルコトガ極メテ大切デアルト考ヘマス、隨ヒマシテ御話ノヤウニ已ムヲ得ザル地方ノ事情ニ依リマシテ之ヲ數區域ニ分ケテ中核體ガ數箇出來マシタ地方ニ於キマシテハ、成ベク速カニ之ヲ一府縣單位ニ統合シテ、一ツノ中核體ニ致スヤウニ強く指導シテ参リタイノデアリマス、唯既ニ左様ナ方針ノ下ニ或ル一府縣内ノ幾箇カノ區域ニ付テ中核體ガ出來、其ノ外ノ區域ニ付テハマダ出來ナイト云フヤウナ非常ニバラノナ地域等ニ付キマシテハ、ソレノ

必要ヲ調整ヲ取りマシテ、或ル時期ニハ之ヲ一單位ニ纏メルヤウニ努力セネバナラナイト考ヘテ居リマス、ソレカラ中核體ノ法的性格ヲ何カニ依ツテハツキリスルト云フ點ニ付キマシテハ、是ガ出來マシテ動クヤウニナルニ伴ツテ、用材配給統制規則其ノ他ノ關係ノ運用上ニ於テモ、之ニ相當用材殊ニ丸太ノ素材ノ之ニ對スル一手集荷能力ト云フヤウナモノモ考ヘタリ致シテ、御話ノヤウナ意味ニ於テ實際上地方木材會社ニ代ハルベキ機能ノ出來マスコトハ、色々今後工夫シ指導シテ參ル必要ガアルト思ヒマス、ソレカラ最後ニ御尋ネノ中核體ガ、一時直營工場ヲ全部ヤレナイト云フ事情ノ下ニ於キマシテ、ドウシテモ或ル部分ノ存置工場ヲ只今申上ゲタヤウナ意味ニ於テ、中核體ノ許可名義ノ下ニ、下請關係ノ從來ノモノニサセ、或ハ從來ノモノノ團體組合等ニサセテ參ルト云フヤウナ場合ノ形態ニ付キマシテハ、是ハヤハリ製材業者トシテハ、此ノ中核體デアリマスガ、中核體ノ下デ製材加工ノ作業ヲ致シ、又其ノ關係工場ヲ管理シテ之ヲ行フト云フコトニナル特殊ノ關係ヲ以テマシテ之ヲヤツテ參ル、之ヲ實行スル場合ニ於テハ必要ガアレバ、其ノ關係業者ノ間デ適當ナ申合セ組合等ヲ作ツテ、之ヲ協同管理シテ行クト云フヤウナコト等ハ、其ノ場合々々ノ實情ニ應ジテ、能ク研究シテ參ル必要デアルト考ヘマス

○井野國務大臣 先刻ノ御話ノ點デ誤解ガアルトイケマセヌカラ御答ヘ申上ゲテ置キマス、私が訴願ト審議會ノ二ツノ片方ヲ取レバ宜イノデハナイカト云フヤウニ申シタト誤解ガアツタヤウデアリマスガ、ソレハ斯ウ云フ意味デ申シタノデアリマス、此ノ

木材統制法施行令ノ第三條ニ農林大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ木材統制委員會ノ議ヲ經テ立木ノ所有者ニ對シ價格其ノ他讓渡ニ關シ必要ナル事項ヲ指定シ云々トアリマス、即チ木材統制委員會ノ議ヲ經テヤツタモノハ、訴願シタ時ニ農林大臣ハ此ノ委員會ノ議ヲ經テ其ノ案ヲ裁決スルト云フコトニナリマス、木材統制委員會ト云フモノノ議ヲ經テト云フコトヲ無視スル、デスカラ訴願ノ時ニ尙ホ木材統制委員會ノ議ガ經ラレバ非常ニ公平ナノデアリマスガ、ソレガ今マデノ行政訴願ノ時ニハ斯ウ云フ委員會ノ議ヲ經テヤルコトハアリマセヌカラ、寧ロ訴願ヲヤラナイデ、統制委員會ノ議デ以テ農林大臣ガ決メテ行クト云フコトガ一番適當デナイカ、斯ウ云フ意味デ申シタノデアリマス、今回法制局ハ非常ナ好意デ以テ訴願ニ對シテモ、訴願裁決ヲスル時ニモ統制委員會ノ議ヲ經ルヤウニシタノデアリマスカラ、ソレナラバ私が初メ考ヘテ居リマシタヤウニ訴願ヲ設ケマシテモ非常ニ意味ヲナスデアリマス、其ノ點ガ訴願ノ裁決ダケデハ委員會ノ議ヲ無視シテシマフコトニナルノデ、寧ロ訴願ヲ認メナイ方が宜イデヤナイカト云フコトヲ考ヘタノデ申シタノデアリマス

○松尾(四)委員 今ノ大臣ノ御答辯ハ諒承致シマシタ、局長ノ下請ノ問題デアリマスガ、サウスルト下請ハ直營ノモノハ別デス、別ニ下請ヲシテ行ク方ハ組合ヲ組織セシメテ、サウシテ其ノ組合ニ又縣木中核體カラ命令ヲ出シ指導ヲシテ材料モ與ヘテ加工セシメル、斯ウ云フ下請ヲサス、ソコデ下請ヲシテ組合ヲ拵ヘルノデスガ、組合ハ今日ノ所ハヤハリ元ノ企業體デナケレバナラス

ト思ヒマスガ、ソレハソレデ宜シイノデスガ、個々ノ甲乙丙皆製材業ヲヤツテ居リマス、其ノヤツテ居ル者ガ組合ヲ作レト言フノデスカラ組合ヲ作リマス、作ツテモ組合デス、別ニ自分ノ業ヲ止メタノデハナイ、ソレ等ノ者ガ事業ヲシテ居ル、個々ノ者ハ事業者デス、製材業者デス、其ノ業者ヲ活カシテ居ルト云フコトニナルノデスガ、ソレガ組合デスカラ、ソレニ命令ヲ出ス、ソレガ下請ダ、斯ウ云フ形ニナツテ行クノデアリマスガ、ソレデ宜シウゴザイマスカ、サウ思ツテ居ルガ、唯宜イカ惡イカラ聽ケバ宜イノデス

○井出政府委員 其ノ下請ヲ致サセマスル場合ニ於キマシテ、從來ノ製材業者ガドウ云フ營業ノ實體ヲ成スカト云フコトハ、是ハ實際問題ニ於キマシテハ、其ノ場合々々ニ依ツテ考ヘテ行ツテ宜イノデハナイカト思ヒマス、唯所謂法律上ノ製材業者ト云フモノデハナクナルコトハ當然デアリマスルガ、其ノ製材業中核體ガ營ミマスル、其ノ中ノ中心ヲ成シマスル製材加工ノ作業ヲ比較的包括シテ下請シテ、之ヲ完成シテ、サウシテ其ノ製品中核體ガ處分シテ參ルト云フ關係デアリマシテ、ソレヲ組合デ致シマス際ニ、其ノ各組合員ガ一ツ一ツ獨立ノ營業者デアルカドウカト云フコトハ、是ハ製材業者デハアリマセヌケレドモ、特殊ナ作業ヲ包括的ニヤル一ツノ業務ヲ營ム者、斯様ニ考ヘテ行カナケレバナラナイノデヤナイカト思フノデアリマス

○松尾(四)委員 其ノ特殊ノ作業ヲスル個々ノ者ヲ集メテ組合ヲ作ルト云フ風ニ聞エルノデスガ、製材業ト云フモノハモウ今日アルノデ、別ニ深く考ヘナケレバナラヌトカ、

特別ノ場合ヲ考慮シナケレバナラヌ必要ハ
ナイノデアリマシテ、現ニ今ヤツテ居ル組
織ヲ、此ノ儘企業形態ヲ認メテ、且ツ此ノ
儘活カシテ行カウト云フコトデ、大體先般
來ノ御話ノ中デ済マシテ居ルノデスガ、ソ
レヲドウシテ活カスカト云フト、ソレ等ノ
者ニ各、組合ヲ作ラシメテ、其ノ組合ノ縣
木社ト云ヒマスガ、中核體カラ註文ヲ發スル、
其ノ組合ガ註文ヲ受ケテ組合員ニ分ケテ、公
平ニ生産ヲ分配シテ、又縣木社ニ之ヲ納メル、
サウ云フ風ニヤツテ行クカラ圓滑ニ行ク、
其ノ爲ニ御考ヘニナツタモノトスルト、組合
ヲ構成シテ居ル者ハ企業者デナイト云フコ
トハイカナイ、事業ヲヤルカラ組合員デア
ル、事業者デアルカラ組合員デアル、特殊
ト言ヒマスガ、特殊モ變ツタコトモナイ、
製材業者デス、組合ヲ構成シテ居ル個々ノ
モノハ企業者即チ事業者デアル、事業者、
經營者デナケレバ組合ハ出來マセス、其ノ
組合ノ營業者ノ權利ヲ取ツテシマフト云フ
コトニナツタラ組合ハ出來マセスガ、ソコ
ガドウモ分リニクイノデス、ドウ云フ風ニ
解釋シテ宜イノデスカ

○井出政府委員 其ノ點ハ從來ノ製材業者
ト云フコトニハ、之ヲ法律上、木材統制法
上取扱フコトハ固ヨリ出來ナイノデアリマ
スルガ、中核體ノ營ミマスモノ、工場ニ
依ル製材事業ノ中デ製材加工ノ作業ヲ包括
的ニ下請ヲシテ仕事ヲスルト云フ業者ニナ
ルダラウト思ヒマス、サウ云フヤウナ特殊
ナ仕事ヲヤル人達ガ或ハ便宜數人纏マリマ
シテ、更ニ組合ヲ作ツテ、便宜是等關係工
場ハ中核體カラ製材原木ヲ配給致シマスル
手段等ニ使ヒ、又更ニ其ノ製品ヲ事實上中
核體ガ收納シテ、更ニ之ヲ賣捌イテ參ルト

云フコトノ便宜ヲ交渉ノ相手方ニ、或ハ御
話ノヤウナ團體、即チ組合ヲ考ヘテ行クト
云フコトハ其ノ場所々々ニ付テ適宜考ヘテ
行ツテ宜カラウカト思ツテ居ルノデアリマ
ス

○松尾(四)委員 其ノ場所々々ニ付テト云
フコトニナルト、考ヘラレナイ所モアルヤ
ウニ見エル、場所々々ニ付テト云フコトニ
ナルト、或ル場所ニ付テハ考ヘラレナイ、
或ル場所ニ付テハ考ヘルノダ、斯ウ云フ風
ニ聞エマスカラ、ソコニ全國的ニ非常ナ不
安ガアル、農林省ノ御考ヘデドンナニデモ
ナルト云フ風ナコトデアレバ、——勿論農
林省ノ山林局ノコトデアルカラ公平ニヤツ
テ戴クデアリマセウケレドモ、或ハ出鱈目
ニヤラレカモ知レナイト云フコトガアツ
テハ大變困ルト云フコトガ第一點デアル、
餘リ攻撃的ニ理窟ヲ申上ゲルノデハナイケ
レドモ、私ハモウ一點ソレニ付テ斯ウ云フ
コトモ考ヘテ戴イタラ分ルト思フ、アナタ
ハ特殊ナモノヲ製作セシメルニハ組合ニ言
付ケテ、組合ガソレヲ引受ケテ來テ、サウ
シテ其ノ特殊ナモノニ又製作ヲサスノダ
ト言フ、例ヘバ特殊ナモノト云フテモ
軍需、公用材、生産擴充、皆材木ハ何ヲ
スルカト云フト、丸太ヲ持ツテ來テ柱ヲ作
ルカ板ヲ作ル、大體ニ於テ柱ト板ヲ作レバ
宜イ、サウスルト柱、板ヲ作ルノハ製材業
者デアル、其ノ製材業者ハ組合ノ下ニ居ル、
其ノ製材業者ノ權利ヲ之ヲ營業ササナイト
云フノデスカ、サスノデスカ、ササナケレ
バ組合ヲ構成出來ナイ、營業者デアツテ初
メテ組合ヲ構成出來ル、其ノ組合員ニ營業
サスノカササスノカ、是ハ營業ヲ許サレル
ノハ當リ前ト思ヒマスケレドモ、ドウモ御

説明ニ依ツテハ御考ヘガ違ツテ居リハシナ
イカト思ヒマスカラ、一寸伺ヒマス

○井野國務大臣 段々局長トノ御話ヲ伺ツ
テ居リマシタガ、私ハ斯ウ思ヒマス、組合
ヲ組織スルモノハ業者デナクシテハ組合組
織ハ出來ナイ、デアリマスガ、業者ノ許可
ヲシマスノハ、組合ノ組織者ニ限ル、斯ウ
云フコトニナルノデアリマスカラ、隨テ資
格ニ於テハヤハリ業者ト云フ資格ヲ持ツテ
居ル者、斯ウ解釋ヲシテ行ツテ宜イノデヤ
ナイカト思ヒマス

取リヲスルノデヤナイ、唯思ヒ違ヒノナイ
ヤウニシテ、ヤハリ企業ハ生カシテ行ク、
生カシテ行ツタ者ニ組合ヲ組織セシメテ、其
ノ組合ヲ組織シタ者ニ縣木社ナリ木材會社
ガ仕事ヲ下請サセル、下請スル者ガ許可名
義ヲ持タナケレバソレデナケレバ下請業ニ
ナラナイ、其ノ點念ノ爲ニ伺ツテ置キマス

○井野國務大臣 大體先程私ノ申上ゲタ通
リ中核體ニ屬シテ居ル業者ハ業者デアルト
云フ風ニ扱ヒマス、サウ云フ規定ヲ設ケマ
スカラ、差支ヘナイト思ヒマス

○松尾(四)委員 サウ致シマスト直營ニ屬
スルモノハ問題ガアリマセスガ、別ニ下請
ト云フ一ツノ企業形態ガアリマス、組合ノ
企業形態ヲ認メテソレニモ註文ヲ出シテヤ
ル、ソレカラ直營デモヤルト云フ二元制
ニヤラセリヤリ方ニナツテ居ル、是ハ宜イト
思フ、ソレデ初メテ増産モ出來、仕事モ圓
滑ニ行キマス、今回ノヤウニ全部企業許可
權ヲ取消シテヤラウト云フヤウナコトハ非
常ニ重大ナコトデスカラ、餘程御準備ヲセ
ラレテカラオヤリニナツタラ宜イ、今直ダ
ヤル時デハナイト思ヒマス、更ニ次ニ御尋
ネ致シマス、將來サウ云フ場合ニ於テハ斯
ウ云フコトガ起リハセヌカト云フコトヲ業界
ノ方デハ心配シテ居リマス、是ハ私ノ杞憂
ニ過ギナイカモ知レマセスガ、一ツノ木材
會社ガ自分ノ直營デ自分ノ工場ヲ動カシテ
行ク仕事ト、ソレカラ下請ノ方ヘ流シテ行
ク仕事ト、此ノ間ニ差別ガ付クヤウナコト
ガアルト下請ノ方ハ非常ニ不公平ナ目ニ遭
フ、材木ノ規格ハ非常ニ難カシイ、材質ニモ
非常ニ難カシイコトガアル、難カシイモノ
ハ下請ガヤツテ、ヤリ宜イモノハ直營デヤ
ルト云フコトニナルト、下請ハ生カシテハ

貴ツテ居ルガ繼子扱ヒデアル、死ニタクナ
ケレバ俺ノ方ヘ眼イテ來イト云フコトニナ
レバ、政府ノ方デハ企業ヲ認メテヤル、生
カシテヤルト思ツテオヤリニナツテ居ラレ
テモ、農林大臣ノ親心ハ縣木社ニ行ツテ親
心ニナラナイ、サウ云フコトガ起リマスカ
ラ是ハ公平ナ御取扱ヲヤツテ戴クヤウナ御
方針ニ願ヒタイノデスガ、此ノ點ニ對スル
言明ヲ御願ヒ致シテ置キマス

○井野國務大臣 勿論或ル制度ヲ認メマス
以上、ソレヲ裏カライデメルヤウナコトヲ
シテ不公平ナ扱ヒヲスルコトハイカスト思
ヒマス、サウ云フコトハサセナイ方針デヤ
リマス

○森田(福)委員 津崎君ト松尾君ノ質問ニ
對スル政府ノ答辯ニ關聯シテ御伺ヒシタイ
ノデアリマスガ、今ノ訴願ノ途ノコトデア
リマス、第二條ニ依ツテ訴願ノ途ヲ開クコ
トニシタト仰シヤルコトハ洵ニ結構ナコト
デアリマス、併シナガラ一寸此ノ點ガ腑ニ
落チナイカラ伺ツテ見ルノデアリマスガ、
地方木材ト森林業者ノ價格ノ協調ガ付カナ
イ時ニハ、農林大臣ニ持ツテ來ル、農林大
臣ハ木材統制委員會ノ議ヲ經テ決定ナサ
ル、ソレニ對シテ異議ノアル者ハ之ヲ又農
林大臣ニ持ツテ行クト、農林大臣ハ又之ヲ
再ビ委員會ノ議ヲ經テ其ノ訴願ガ正當ナル
ヤ否ヤヲ判斷スル、聽キ違ヒカモ知レヌガ
斯ウ云フ意味ニ私ハ聽イタノデス、サウス
ルト此處デ不審ガ起ルノデアリマスガ、訴
願ト云フモノハ從來私ノ知ツテ居ル範圍デ
申上ゲマス、縣參事會デアルトカ、或ハ
地方ノ所得審査委員會デアルトカ云フモノ
ノ決定シタ事項ニ異議ノアル者ハ訴願ヲス
ル、訴願ヲスル方ハ大臣ニ持ツテ行ク、或

ハサウデナイモノハ行政裁判所ニ持ツテ行
クト云フ風ニ途ガ開ケテ居ルノデアリマス、
木材ノ問題ハ農林大臣ガ獨リ御決定ニナツ
タモノデナイノナラバ、今ノ御説ハ訴願ノ
途ヲ開イテ行クト云フノデアルカラ洵ニ要
領ヲ得ルノデアリマスガ、木材ノ統制委員會
ノ議ヲ經テ、農林大臣ガ御決定ニナツタモ
ノニ異議ノアル者ハ再ビ農林大臣ニ持出シテ
行クト云フコトニナルト——恐ラクハ變ツ
タコトニハナラズノガ本筋デアルト思ヒマス、
二重人格ヲ使ヘバ別デアリマスガ、サウデナ
イ限リハヤハリ前ニ決定ヲシタ通り決定ヲ
スレバ即チ許可スル、再審査願ノヤウナコ
トニナツテ居リマスガ、再審査願ヲシテ見テ
モ前ノデ十分デアルト思ツテ居ルカラ、是ハ
イケナイト云フコトニナル方ガ大體私ハ九
分九厘デアルト思フ、ヤハリ訴願ト云フ
途ハ——是ガドウ云フ風ナ御手續ニナツテ
居ルカ知リマセヌガ、大臣ガ一度御決定ニ
ナツタモノニ不服ノアル者ハ行政裁判所
カ、普通ノ民事裁判所ヘ出訴ガ出來ルヤウニ
シテ戴クカ、サウデナイナラバ地方ニ於テ
地方木材會社トノ話ガ調ハナイ時ニハ知事
ガ裁定スルトカ、營林局長ガ裁定スルトカ
云フコトニシテ、ソレガイケナカッタ時ニ
大臣ノ所ニ持ツテ行クト云フコトニナラス
ト、今ノ訴願ノ途ト云フコトハ、農林大臣
アナタガ御決定ニナツテ居ルノニ又農林大
臣ニ訴願スルト云フコトハドウモ是ハ今マ
デノ法ノ建前カラ言ツテカシイヤウニ思フ
ノデアリマス、ヤハリ是ハ普通裁判所ヘ出
ルトカ、行政裁判所ニ出ルトカ云フノデナ
ケラネバ效果ガナイダラウト思ヒマスガ、
農林大臣ノ御考ヘハドウデアリマセウカ

○井野國務大臣 今マデノ訴願ノ例ハ皆サ
ウナツテ居ルノデアリマス、農林大臣ノ處
分シマシタコトニ對シマシテ不服ガアル時
ニ又農林大臣ニ訴願スル、總テノ法令ガ斯
ウ云フ建前ニナツテ居リマス、デアリマスカ
ラ昨年ノ御申合セモソレニ依ツテ訴願ノ途
ヲ開クヤ否ヤト云フコトガ問題ニナツタノ
デアリマシテ、御申合セノ通りナノデアリ
マス、デアリマスカラ此ノ點ハ左様御諒承
ヲ願ヒマス

○松尾(四)委員 森田君ハ關聯シテト云フ
ノデスガ、私ハモウ少シアルノデス

○三善委員長 森田君ニ一寸申上ゲマス、
關聯事項デアリマスカラ、成ベク前ノ松尾
君ノ質疑ニ關係ノアル事項、更ニアナタ方
ガ既ニ御話合ガアツテ済ンデ居ル事項ニ付
キマシテハ、成ベク重複ヲ避ケルヤウニ御
願ヒシタイト思ヒマス

○森田(福)委員 私ハ初メカラ津崎君ト森
田君ノ質問ニ關聯シテ御伺ヒシタイト申上
ゲタノデアリマスガ、今アナタ方ノ御話合ハ
ドウ云フ御話合ニナツタノカ私ハ能ク承知
シテ居リマセヌ、ソレハアナタ方ノ翼賛議
員同盟ノ方ノ御申合セデアリマセウ、私ハ
其ノ方ニ入ツテ居リマセヌカラ存ジテ居リ
マセヌ、今ノ訴願ノ問題ハ農林大臣ガ決定
シテ又農林大臣ニ訴願スレバ宜イト言ハレ
ル、是ハ二重人格デモ使ヘバ出來スコトハ
ナイガ、私ハヤハリソレハ民事裁判所カ行
政裁判所ニ持ツテ行ク方ガ皆ガ得心ガ行キ
易イト思フ、アナタガオ決メニナツタモノ
ヲ又アナタノ所ニ持ツテ行ツテモ、ソレヲ
變ヘラレルカドウカ非常ニ疑問ガアルト思
フ、子供騙シノヤウナコトヲ言フナラバ別
問題トシテ、兎モ角モ本當ノ議論カラ言ツ
タナラバソレハ決シテ善イ制度デヤアリマ

セヌ、尙ホ是ハ御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマス
ソレカラ尙ホ松尾君ノ御質問ニ御答ヘニ
ナツタ製材方面ニ對スル下請業者、是モ
業者トシテ御認メニナツテ、ヤハリ五月三
十一日マデニ來レバ繼續シテ許可ヲ與ヘラ
レルト云フコトハ非常ニ感謝シテ居リマス、
サウヤツテ戴キタイト思ヒマス、今日ノ此
ノ時局、商工大臣モ或ル委員會デ御話ニナ
ツタヤウニ、斯ウ云フ時局ニサウ一時ニ中
小商工業者ノ轉廢業ヲサセルヤウナコトヲ
シナイ、殊ニ出征軍人ノ家族ナドハ其ノ事
情ヲ認メテ整理ヲサセヌヤウナ手段ヲ執
ル、斯ウ仰シヤツタ、私モヤハリ此ノ材木
業者ト云フモノハ——唯此處デ私ノ御話申上
ゲタイノハ、製材業者ノ方面ハソレデ片付
クコトト思ヒマスガ、木材業者ノ中ニハ店
舗ダケ權ヘテ製材工場ヲ持ツテ居ナイ者ガ
可ナリ多イノデアリマス、隨テ之ニ對シテ
ハ山林局長ノ御話ノヤウニ小賣業者——小
賣業者ニ限ツテハ居ラスト思ヒマスガ、小賣
セヨ、卸賣ニセヨ、商業組合ヲ結成サシテ行
ク、サウシマス小賣商業組合ナリ卸賣商業
組合ノ下ニ居ツテ下請ヤツテ販賣ニ當ル者
ハ、ヤハリ製材業者ノ下請ト同様ニ、販賣ノ下
請ヲシテ行クノデアリマスカラ、業者トシ
テソレヲ御許シニナルノデアリマセウカ、
或ハヤハリ組合ヲ一ツノ事業者ト認メテ行
ツテ、個人々々トシテハ認メテ行カスト云
フコトニナルノデアリマセウカ、ソレハ稅
トノ關聯カラ言ツテモ可ナリ重要ナコトナ
ノデアリマシテ、組合ト云フモノハ業者ガ
アツテ組合ガ出來ルト云フコトハ前ノ質疑
應答ト同ジコトデアリマスガ、ヤハリ販賣
ヲシテ行ク小賣商人或ハ卸賣商人ノ營業權
ト云フモノハ認メテヤツテ、ソレ等ガ寄ツ

テ組合ヲ作ツテ行クモノト見テ宜イノデア
リマセウカ

○井出政府委員 此ノ小賣商業組合ヲ認メ
テ行キマスル地域ニ於キマスル其ノ小賣商
業組合員タル木材業者ニ對シテハ、是ハヤ
ハリ個々ノ者ニ對シテ木材統制法ノ木材業
ノ許可ヲシテ參ル積リデ居リマス

ソレカラ中核體ノ下請製材作業ヲスル者ニ
對シマシテハ、先程モ大臣カラ申上ゲマシタ
ヤウニ、許可名義ハ飽クマデ中核體ガ總テ許
可ヲ受ケルト云フコトニ相成ル積リデ居リマス

○松尾(四)委員 餘リニ追究スルヤウニナ
リマスガ、會社デ許可名義ヲ受ケテ、下請
業者ハ許可ヲ受ケテ居ラスコトニナルト、
事業ガ非常ニヤリニクイモノニナリハシナ
イカ、ドンナ風ニナルノデスカ、ソコガド
ウモ疑問ニナルト思ヒマス

○井野國務大臣 我ハ大臣トシテ答ヘタノ
デアリマス、責任ヲ持ツテヤリマスカラ左
様御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○松尾(四)委員 大臣ノ責任アル御答辯ガ
アリマシタカラ、大臣ノ答辯ニ依ツテ敢テ
私ハ御答辯ヲ求メマセヌ

次ニ先程特殊品ニ付テハ特ニ組合ヲ以テ現
狀ニ於テ許シテ置カウト云フ考ヘダト言フ、其
ノ特殊品ト云フノハ、私ハ斯ウ考ヘルノデスカ、

違ツタラドウカ言ツテ下サイ、ベニヤ板或
ハ電柱、或ハ箱ヲ作ル、或ハ樽ヲ作ル、屋根板
ヲ作ル、或ハ枕木、坑木、是等ノ類ノモノハ特
ニ組合ヲ結成シテ、其ノ組合ニ木材會社カ
ラ註文ヲ發シテ生産ヲセシメル、所謂今日マ
デノ現況ヲ認メテ行カウ、斯ウ云フ風ニ先
程局長カラノ答辯ガアリマシタガ、此ノ種
類ニ付テハ是等ノ種類ト思ヒマスガ、何カ
違ヒガアリマセヌカ、一ツ伺ツテ置キタイ、

是ガ第一點デアリマス

モウ一ツハ縣木會社ト縣木會社トノ間ノ
利潤ハドウナルノゴザイマセウカ、例ヘ
バ奈良縣デ生産シタモノヲ兵庫縣ノ木材會
社ニ一旦之ヲ賣渡ス、サウシテ兵庫縣ノ木
材會社ガ配給ヲヤルダラウト思ヒマス、其
ノ間ニ奈良縣ノ木材會社モ利潤ヲ取ル、兵
庫縣ノ木材會社モ利潤ヲ取ル、サウ云フ風
ニナツテ來ルト公定價格ハ決メラレテ居リ
マスカラ、途中デ利潤ヲ取ラレルダケ山林
家ノ利潤ハ減ル譯デスカ、之ヲドウ云フ風
ニ考ヘテ置イテ宜シウゴザイマスカ伺ヒタ
イ、此ノ二點デゴザイマス

○井出政府委員 初メノ御質問ノ特殊製品
ニ付テ、中核體ノ業務カラ除クト云フ部分
ニ付キマシテノ例トシテ御示シノアリマシ
タモノノ中ニハ、本來ノ丸太素材ニ該當ス
ルモノモ相當アリマシテ、其ノ全部ヲ除ク
ト云フ譯ニハ參ラナイト思ヒマス、今差當
リ之ヲ除イテ然ルベキモノト明カニ考ヘラ
レマスモノハ、箱ノ製造デアルトカ、樽丸
ノ製造デアリマストカ、或ハ屋根板、突板
等ヲ造ルト云フ風ナコトハ、是ハ明カニ中
核體ノ業務外ニ致スベキモノデアラウト斯
様ニ考ヘテ居リマス

ソレカラ其ノ次ノ御尋ネノ幾ツカノ府縣
ノ中核體ノ間ニ於キマシテ木材ノ統制配給
ガゴザイマスガ、其ノ際ノ配給上ノ「マージ
ン」ニ付キマシテノ御尋ネハ、是ハ一ツ極力
中核體ニ於キマシテ最小限度ノ經費其ノ他
ヲ賄フニ必要ナ限度ニ止メマシテ、御話ノ
ヤウニ木材ノ公定價格ガ決ツテ居リマス時
ニ、此ノ中核體ノ間ヲ幾ツカ木材ガ轉々シ
テ歩ク間ニ「マージン」ヲ相當取ルト云フヤ
ウナコトハ、結果ニ於テ森林所有者ノ立木價

格ヲ壓迫スルコトニナルコトハ御話ノ通り
デアリマスカラ、中核體間ノ取扱ノ手數料
ハ切詰メルヤウニ致サナケレバナラスト考
ヘテ居リマス

○三善委員長 松尾君、大臣ハ貴族院ノ豫
算總會モアリマスノデ、向フノ方カラ請求
シテ參ツテ居リマスカラ、アナタノ大臣ニ
對スル質疑ガアリマスナラバ極ク簡單ニ願
ヒマス

○松尾(四)委員 尙ホ局長ノ御答ヘデ宜イ
モノガモウ一點アリマスガ、ソレハ後ニ致
シマシテ、大臣ニ尙ホ伺ツテ置キタイノハ、
先程來御尋ネヲ致シ、又御答ヘヲ願ツタ點
ニ付キマシテハ、現在ノ方針ニハ違ツテ居
ラスノダラウト思ヒマスガ、御取扱ヒニナ
ツテ居ル上ニ於テ、例ヘバ五月三十一日限
リ斷然業務ヲ停止セシムルノダト云ツタヤ
ウナ御方針等ニ對シテ相當御考ヘヲ變ヘテ
戴イタヤウナ點ハ、成ベク早イ機會ニ各府
縣ニ通牒デモ出シテ戴イテ、其ノ御方針ヲ
明ニシテ置イテ戴キタイト思ヒマス、ソレ
ハ最近非常ニ業界ガ心配ヲシ混亂ヲシテ居
ルノデアリマシテ、其ノ心配混亂ト云フコ
トハ結局減産デアリマス、減産ニナルト云
フコトハ、此ノ時局ニ對シテ洵ニ林業家、
材木業者、山林家共ニ御奉公ガ足リナイト
云フコトニナル、斯ウシテ一億一心ニナツ
テ、國家ノ御用ニ立ツヤウニ、御役ニ立ツ
ヤウニ、祖先傳來ノ持ツテ居ル山林ヲ此ノ
時ニ出スコトハ厭ヒマセヌ、唯今日マデ育
テ來タ山林ヲ餘リニモ不公平ニ取扱ハレ
ルト先祖ニモ濟マスト云フヤウナコトカラ、
山林家トシテハ、之ヲ非常ニ心配ヲシテ居
リマス、業界トシテモ多年材木業者トシテ
立ツテ居ツテ、今法律命令一本デ企業ガ止メ

ラレテシマフト云フコトヲ非常ニ心配シテ
居ルノデアリマスカラ、斯ウ云フ點ニ對シ
テハ成ベク早イ機會ニ地方廳ノ方ニ、今日
明カニナツタ方針ヲ御通牒ニナルヤウニ御
心配ヲ願ツテ置キタイト思ヒマスガ、之ニ
對スル御返事ヲ戴キマシテ、私ノ大臣ニ對
スル御尋ネハ止メマス

○井野國務大臣 木材統制法ノ運用ニ付キ
マシテハ今私が申上ゲマシタ通り今後モ處
シテ參ル積リデアリマス、必要ガアレバ通
牒モ致シマス、又色々地方廳ト連絡ヲ取り
マシテ善處致シタイト思ヒマス

○森田(福)委員 一寸一言ダケ簡單ニ申上
ゲテ置キタイト思ヒマスガ、大體能ク分リ
マシテ、今日ノ農林大臣ノ御答辯ニ依ツテ、
從來吾々ノ地方デ業者ガ考ヘテ居ツタコト
トハ違ツテ、業者ノ爲ニモ國家ノ爲ニモ私
ハ今日ノ解釋ハ相當宜イ所マデ進ンダト思
フノデアリマス、唯茲ニ一言申上ゲテ置キ
タイノハ從來ノ行掛リ上當局デアルトカ、
地方當局デアルト云フモノガ從來斯ウ云フ
モノヲ認メテ居ツタカラ之ヲ是正スルコト
ハ面子ニ關スルト云フヤウナコトデ、摩擦
ノ起キナイヤウニ、一ツ斯ウ云フ時局デア
リマスカラ、今マデ違ツテ居ツタ所ニ行ツ
テ居ツタノヲ、今日ノ質疑應答ニ依ツテ直
スコトガアルナラバ、氣持好クアツサリ直
シテ、手ヲ握リ合ツテ行クヤウニ、特ニ此
ノ點ヲ申上ゲテ置イテ、大臣ニ對スル質問
ヲ終リタイト思ヒマス

○三善委員長 松尾君、マダアリマスガ、
極ク簡單ニ纏メテ言ツテ下サイ

○松尾(四)委員 都會ノ方ニハ木材ヲ配給
スルニ當リマシテ荷受配給會社ヲ拵ヘルト
云フコトデアリマスガ、時期ハ何時頃ニナ

第六類第二號 米穀需給調節特別會計法中改正法律案委員會議錄 第十三回 昭和十七年二月九日

リマスカ承リタイト思ヒマス

第二點ハ山林家ガ木材ヲ市場ニ出スニ當リマシテ、山カラ伐リ出シテ停車場マデ持ツテ行ク間ニ、相當運賃、加工賃等ガ加ハルノデス、其ノ運賃、加工賃ハ所ニ依リマズケレドモ、大體本來ノ立木ヨリモ三倍ノ値段ニナル、其ノ三倍ノ値段ニ對シテ今回ハ材木會社デハ三分ノ「マージン」ヲ取ルト云フコトニ大體ノ御方針ガナツテ居ルト云フノデアリマスカラ、例ヘバ山林ノ値ガ一デ、途中ニ色々ナニ倍ノモノガ加ハツテ來テ、其ノ二倍ノ加ハツタモノ、即チ山林ノ立木價格ニ三分ノ手数料ヲ取ラレト、ソレヲ公定價格カラ逆算サレテ來ルト、山林ノ値ハ餘程低下スルノデアリマス、斯ウ云フ場合ヲ恐レテ、山林ノ立木價格ニ三分ノ「マージン」ヲ取ルト云フコトニシテ貰ヒタイ、斯ウ云フコトヲ希望シテ來ラレル業者ガアルノデアリマスガ、ドウ云フ御考ヘデアリマスカ、ソレガ二點デアリマス

ソレカラ今度出來タ森林組合カラ縣木社ニ賣渡ス場合ニ於キマシテ——山林業者ガ直接縣木社ニ賣渡シタ場合ニハ、森林組合ニ手数料ヲ拂ハスデモ宜イノデアリマスカ、又ハ拂ハナケレバナラスト云フコトニナルノデアリマスカ、之ヲ伺ヒタイ

○井出政府委員 第一點ノ御尋ネノ東京、大阪、名古屋ノ三大木材ノ集散配給市場ニ付キマシテハ、先程申上ゲマシタヤウニ、是ノ木材業ヲ一丸トシマシテ荷受配給會社ヲ作ルベク成ベク早ク之ヲヤル積リデ居リマス、之ニ依リマシテ此ノ中核體、其ノ他產地カラノ計畫的ノ荷ヲ之ニ受ケマシテ、防空資材或ハ住宅營團等ノ資材、或ハ必要ガアレバ軍需資材等ノ三大市場ニ於キマス

ル供出ニ萬遺憾ナキヲ期スル爲ニ、成ベク之ヲ早ク作ツテ參ル積リデ指導致シタイト思ツテ居リマス、ソレカラ此ノ中核體ガ取扱ヒマス木材ノ販賣手数料ニ付キマシテハ、立木價格ノ何分ト云フ程度ニソレヲ止メタラドウカト云フ御話デアリマスガ、今後此ノ中核體ガ仕事ヲ致シマスニ當リマシテハ、

山ニ於キマシテ直接立木ヲ買付ケテ伐採ヲ致シマス場合モアリマセウシ、又立木伐採業者ガ伐リマシタ丸太ヲ或ル貯木場カラ引受ケテ、更ニ之ニ運輸其ノ他ノ經費ヲ掛ケテソレノ配給先ニ渡スト云フ風ナコトモゴザイマスガ、ソレ等ノ經費ハ最小限度ニ出來ルダケ切詰メテ行クヤウニ致サナケレバナラナイト思ツテ居リマス、唯從來ノヤウニ木材ニ付キマシテハ森林家ノ手カラ離レマシテ、幾ツカノ業者ノ間ヲ潜ツテ來テ、其ノ度ニ手数料ヲ取ツテ參ツタト云フコトガ、今回ノ中核體ニ依リマシテ非常ニ配給機構ガ簡易化シマスルカラ、是等ノ間デ取ラレタ手数料ハ今度中核體ガ取扱フ場合ニ於テハ、相當程度減額サレルコトニナリマスルノデ、結果ニ於テハ從來ヨリモ山林所有者ノ立木價格ト云フモノニユトリガ出テ參ル、高ク評價サレルト云フ傾向ニアルヤウニ考ヘマス、ソレカラ森林組合ガ將來出來マスル以上ハ、是ガ恐ラク其ノ區域内ノ立木ノ伐採ヲ一手ニ出來ルダケヤツテ參ルヤウナコトニ段々ナツテ參ルト思ヒマス、其ノ場合ニ於キマシテノ森林組合ガ取りマスル此ノ手数料等ニ付キマシテモ、森林組合ノ趣旨ニ依リマシテ、出來ルダケ最小限度ノ範圍デ止メテ、是等ノモノヲ立木所有者或ハ森林所有者ニ還元致スヤウニ、此ノ手数料モ十分ニ監督指導シテ參ラウト考ヘ

テ居ル次第デアリマス

○三善委員長 是ニテ質疑ハ大體終了致シマシタ、簡單ナル質疑ハ之ヲ御計シスルカ、或ハ委員長ニ於テ取纏メテ質疑致シタイト思ヒマス、午後ハ討論ニ移リタイト思ヒマス、午後ハ三時マデ休憩致シマス、午前はニテ……

午後一時三十分休憩ノ儘散會